

2022年10月新聞書評に掲載された本



昭和史講義<戦後文化篇(上)>(ちくま新書 1665)

筒井 清忠 著
筑摩書房

戦後昭和文化の全貌を38人の多様な論点から照射する試み。戦後文化篇上は、思想・文学・芸術を幅広く渉猟しつつ、知識人や作家の活動、社会の側のさまざまな思想や運動を、第一線の研究者がわかりやすく解き明かす。

産経新聞 2022/10/01

2022:7./ 349p
978-4-480-07496-6

¥1,100〔税込〕



昭和史講義<戦後文化篇(下)>(ちくま新書 1666)

筒井 清忠 著
筑摩書房

戦後昭和文化の全貌を38人の多様な論点から照射する試み。戦後文化篇下は、戦後に黄金期を迎えた日本映画界を中心に、テレビドラマからアニメ、雑誌まで、百花繚乱のメディア文化を第一線の研究者がわかりやすく解説する。

産経新聞 2022/10/01

2022:7./ 349p
978-4-480-07497-3

¥1,100〔税込〕



インディペンデントの栄光~ユーロスペースから世界へ~

高崎 俊夫 編
堀越 謙三 著
筑摩書房

ユーロスペースの設立、アッバス・キアロスタミとの出会い、東京藝大大学院映像研究科の立ち上げ...。国内外で活躍する堀越謙三が、半生を振り返りながら、その戦略や後進育成など、インディーズと歩んだすべてを語る。

産経新聞 2022/10/01、朝日新聞 2022/10/15、日本経済新聞 2022/10/15、読売新聞 2022/10/30

2022:9./ 354p
978-4-480-81565-1

¥2,200〔税込〕



踊る菩薩~ストリッパー・一条さゆりとその時代~

小倉 孝保 著
講談社

酒と男、警察との攻防、わいせつ裁判、自殺未遂、大やけど、生活保護...。昭和の男社会を自分の身ひとつで生き抜いたストリッパー・一条さゆりの本格評伝。

産経新聞 2022/10/01、東京・中日新聞 2022/10/16、朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 371p
978-4-06-529255-6

¥2,200〔税込〕



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2022年11月時点での税込み価格です。



殺人者の白い檻

長岡 弘樹 著
KADOKAWA

緊急搬送されてきた死刑囚の開頭手術を引き受けた脳外科医・尾木敦也。術後、命を救った患者が両親を殺した定永宗吾であったことを知る。定永は自身の犯行を一貫して否認して...。『小説野性時代』連載を改題し単行本化。

産経新聞 2022/10/02

2022:7./ 246p
978-4-04-112359-1
¥1,870〔税込〕



平櫛田中回顧談

本間 正義 編
平櫛 田中 著
中央公論新社

生いたち、長安寺の生活、岡倉天心の思い出、日本美術院の再興、鏡獅子の制作...。彫刻家・平櫛田中が自身の来し方を語った聞き書き記録。交流した芸術家、芸術界に関する貴重な証言も満載。巻頭に写真あり。

産経新聞 2022/10/02

2022:9./ 341p
978-4-12-005573-7
¥2,420〔税込〕



日本インテリジェンス史～旧日本軍から公安、内調、NSC まで～(中公新書 2710)

小谷 賢 著
中央公論新社

国家の政策決定のために、情報分析や防諜活動を行うインテリジェンス。戦後日本のインテリジェンス・コミュニティの変遷を追いながら、CIA 事案やソ連スパイ事件など豊富な事例を交え、75年にわたる秘史を描く。

産経新聞 2022/10/02

2022:8./ 5p,279p
978-4-12-102710-8
¥990〔税込〕



絵画で読む『失われた時を求めて』～カラー版～(中公新書 2716)

吉川 一義 著
中央公論新社

20世紀を代表する作家プルーストの大長篇「失われた時を求めて」のエッセンスを、絵画を手がかりに紹介。彼が作品で描いた恋愛、同性愛、死、ユダヤ人、スノビズム、時間、芸術論などの主題をわかりやすく案内する。

産経新聞 2022/10/02

2022:9./ 6p,188p
978-4-12-102716-0
¥1,034〔税込〕



ストロベリー戦争(弁理士・大鳳未来)

南原 詠 著
宝島社

いちごの新品種「絆姫」を開発した、宮城県久郷いちご園。だが、出荷直前で商標権侵害の警告書が届いた。誰が漏らしたのか? 拡大する被害額と、失望する仲間たち。追い詰められた弁理士の未来は、驚天動地の勝負に出る!

産経新聞 2022/10/02

2022:9./ 261p
978-4-299-03389-5
¥1,540〔税込〕





どうぶつのわかっていること・わかっていないこと(ShoPro Books)

木下 さとみ 著
小学館集英社プロダクション

世の中はわかっているようで、わかっていないことだらけ。キリンの声、ゾウの鼻、ナマケモノの背脂など、世界でまだ誰も解明していない、どうぶつたちの謎を通して、「答えのない問いに向き合う力」をそだてる新感覚の絵本。

産経新聞 2022/10/02

2022:7./ 1冊(ページ
付なし)
978-4-7968-7905-7
¥1,540〔税込〕



ぼんやりとした不安の近代日本〜大東亜戦争の本当の理由〜

浜崎洋介 著
ビジネス社

米欧との“文明の戦い”に挑む「空気」は、どのように作られていったのか。日本近代とはなんだったのか。大東亜戦争に至るまでの必然を、明治・大正・昭和の人々の苦悩と葛藤のうちに描き出す。

産経新聞 2022/10/02

2022:8./ 230p
978-4-8284-2429-3
¥1,650〔税込〕



遠い指先が触れて

島口 大樹 著
講談社

両親を知らずに育ち、就職した僕<一志>のもとに、見知らぬ女性が訪れる。<杏>と名乗る女性は忘れていた過去を呼び起こし、僕の凡庸で退屈な日常が変化していき…。<愛と記憶>をめぐる冒険。『群像』掲載を単行本化。

産経新聞 2022/10/02、朝日新聞 2022/10/08

2022:8./ 162p
978-4-06-528843-6
¥1,760〔税込〕



介護者D

河崎秋子 著
朝日新聞出版

30歳、契約社員、未婚の琴美は、何となく住んでいる東京から、父の介護のため、札幌へ戻ることを決めた。まだ何者にもなれていない琴美の唯一の救いは「推し」の存在で…。『小説トリッパー』連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2022/10/02、日本経済新聞 2022/10/22

2022:9./ 283p
978-4-02-251855-2
¥1,870〔税込〕



老神介護

劉 慈欣 著
KADOKAWA

突如現れた宇宙船から次々地球に降り立ったみずばらしい姿の神。地球で暮らすことを望む神を各家庭で受け入れるが、ほどなく大きな負担となり…。表題作をはじめ、「扶養人類」「地球大砲」など、全5編を収録した短編集。

産経新聞 2022/10/02、毎日新聞 2022/10/08

2022:9./ 289p
978-4-04-112578-6
¥2,200〔税込〕





こどもに聞かせる一日一話～「母の友」特選童話集～

福音館書店 母の友編集部 編

福音館書店

あひるのぼうし、ぐりとぐらのピクニック、首かざりと金のたまごなど、子どもと一緒に楽しめる、短くておもしろい童話 30 話を紹介し、生活文化雑誌『母の友』掲載を書籍化。

産経新聞 2022/10/06

2022:9./ 87p
978-4-8340-8674-4

¥1,650〔税込〕



ドラゴンズ・タン

宇佐美 まこと 著

新潮社

古の中国で、ある男の野望と怨念から生まれた「竜舌」。古井戸に宿る奇異な生命体は時代を経ながら歴史のはざままで暗躍し、不気味な存在へと変貌して行く。そして、刻は満ち…。 “愛と禍”の因果を描く、ホラーサスペンス。

産経新聞 2022/10/09

2022:9./ 374p
978-4-10-354751-8

¥2,200〔税込〕



家裁調査官・庵原かのん

乃南 アサ 著

新潮社

庵原かのんは、福岡家裁北九州支部の少年係調査官。罪を犯した少年少女や親たちとの面会を繰り返す中で、やがて彼女は厳しい家庭の事情や社会の現実と直面し…。

『小説新潮』掲載をまとめて単行本化。

産経新聞 2022/10/09

2022:8./ 345p
978-4-10-371016-5

¥1,980〔税込〕



真夜中の密室(「リンカーン・ライム」シリーズ 15)

ジェフリー・ディーヴァー 著

文藝春秋

わが名は<解錠師>。いかなる鍵も錠前も、僕の敵ではない。鍵のかかった密室に侵入する怪人の真の目的とは？ 四肢麻痺の科学捜査の天才リンカーン・ライムが捜査に乗り出す。多重ドンデン返しの謎解きミステリ。

産経新聞 2022/10/09

2022:9./ 383p
978-4-16-391601-9

¥2,860〔税込〕



エモい古語辞典

堀越英美 著

朝日出版社

碧羅の天、千本桜、寒苦鳥、両面宿讎、玉藻前…。あの人気作に登場する言葉の意味がわかる！ 表現が広がる！ 小説やマンガなどの創作向けに、想像力が刺激される「エモい」古語 1654 語を厳選した古語辞典。

産経新聞 2022/10/09

2022:7./ 183p
978-4-255-01301-5

¥1,782〔税込〕





小さな言の葉の本

リベラル社

日常でよく使う感情の類語を中心に、食やファッション、風景を表現する語を約 500 語収集。言葉の意味や使い方を、イメージイラストや写真と合わせて紹介する。

産経新聞 2022/10/09

2022:9./ 253p
978-4-434-30745-4

¥1,650〔税込〕



押しこぼし類語辞典～巧みな単語で「好き」を拡散!～

笠倉出版社

大好き、ヤバイ、すごいしか出てこない語彙力を変える! 自分ならではの「好き」の伝え方、そのための言葉を発見するための辞典。日常生活の中で気軽に人やキャラクターをほめる力が伸びるよう口語調の文体で用例を紹介する。

産経新聞 2022/10/09

2021:8./ 159p
978-4-7730-6137-6

¥1,430〔税込〕



科学のカタチ

養老 孟司／宮崎 徹 著

時事通信出版局

自然の不思議への思い、人間社会への嘆き、科学研究への望み、歴史からの学び…。ネコやヒトを救う AIM 創薬に向けた研究を加速している宮崎徹が、恩師である養老孟司と興味の赴くままに語り合う。

産経新聞 2022/10/09

2022:8./ 199p
978-4-7887-1850-0

¥1,650〔税込〕



いけない<2>

道尾 秀介 著

文藝春秋

姿を消した姉の SNS 裏アカウントを見つけた桃花は、明神の滝に向かい…。各章の最終ページに挟まれた図像の意味が解った瞬間、物語の別の顔が見えてくる、体験型ミステリー。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

産経新聞 2022/10/09、朝日新聞 2022/10/29

2022:9./ 280p
978-4-16-391597-5

¥1,760〔税込〕



ウクライナから来た少女ズラータ、16歳の日記

ズラータ・イバシュコワ 著

世界文化社

昨日までマンガと小説が大好きな普通的女子高生だったズラータは、母が必死で工面してくれた 16 万円をもって戦火が広がる故郷ウクライナからあこがれの日本を目指し…。日本避難に運命をかけた 140 日間の少女の日記。

産経新聞 2022/10/09、読売新聞 2022/10/23

2022:10./ 223p
978-4-418-22504-0

¥1,650〔税込〕





世界一やばい西洋絵画の見方入門～山田五郎オトナの教養講座～

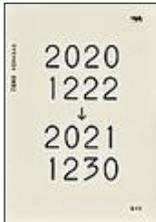
山田 五郎 著
宝島社

ダ・ヴィンチ、モネ、ゴッホ、ルソー…。名画の気になる疑問を山田五郎が愉快に解説する。YouTube チャンネル「山田五郎オトナの教養講座」で西洋絵画について語った動画を書籍化。動画の RQ コード付き。

産経新聞 2022/10/15

2022:9/ 191p
978-4-299-03254-6

¥1,760〔税込〕



モヤモヤの日々～20201222→20211230～

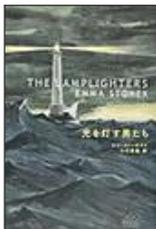
宮崎智之 著
晶文社

緊急事態宣言におののきながらマスクに悩み、赤子をあやし、犬と遊び、朝顔を育て、断酒を続け、本を読み、原稿を書く…。徹底的な凡人を自任する著者が、等身大の日常と熱狂を綴る。『晶文社スクラップブック』連載を書籍化。

産経新聞 2022/10/15

2022:8/ 493p
978-4-7949-7325-2

¥2,640〔税込〕



光を灯す男たち(CREST BOOKS)

エマ・ストーンクス 著
新潮社

英国の最南端、絶海の灯台から、3人の男たちが忽然と姿を消した。灯台は内側から施錠されており、食事も手つかずのまま。灯台守とその妻たちに何が起きていたのか？ 実在する未解決事件を元にした文芸ミステリ。

産経新聞 2022/10/16

2022:8/ 382p
978-4-10-590183-7

¥2,640〔税込〕



切腹屋

岩井三四二 著
光文社

江戸時代の裁判「公事」。その当事者に手と知恵を貸す商売・公事師の駆け出しの辰次は、松代藩山手村から江戸に公事に来た村人代表の3人に、負けたら切腹してみせると大見得を切り、大金30両の仕事を引き受けるが…。

産経新聞 2022/10/16

2022:9/ 316p
978-4-334-91487-5

¥1,760〔税込〕



摩多羅神～我らいかなる縁ありて～

山本 ひろ子 著
春秋社

今に連なる、激動と驚異の宗教的・精神的運動の意味するものとは。ドラマティックな日本中世の世界、大寺の奥深く<闇>に鎮座する異神に光を当て、その由緒と靈性のありかを探り、あわせて日本の精神性を展望する。

産経新聞 2022/10/16

2022:8/ 12p,379p,5p
978-4-393-29133-7

¥3,850〔税込〕





山手線の名建築さんぽ

和田 菜穂子 著
エクスナレッジ

知らない東京を探しに出かけませんか？ 由緒あるお屋敷から、クラシカルな洋館、昭和のレトロビルまで、山手線全 30 駅を徒歩で回りながら周辺の名建築を鑑賞するためのガイドブック。散歩にオススメの立ち寄りどころも紹介。

産経新聞 2022/10/16

2022:9./ 224p
978-4-7678-3030-8
¥1,980〔税込〕



新聞記者のち財界人〜リーダーたちと考えた国の行方〜

萩尾 千里 著
かもがわ出版

戦後激動期、鉄鋼産業の生き残りをかけた八幡・富士製鉄合併をスクープした記者は、経済団体に転身して「当事者側」に立った。関西空港計画、経済交流、財界の権力闘争などの舞台裏を伝え、この国の行方を語る。

産経新聞 2022/10/16

2022:9./ 287p
978-4-7803-1237-9
¥2,200〔税込〕



日本中世の民衆世界〜西京神人の千年〜(岩波新書 新赤版 1942)

三枝 暁子 著
岩波書店

さまざまな社会集団や権力が併存し、強大な力をもつ幕府が統合・支配した日本の中世。千年の命脈を現代にまで保つ京都・西京神人に焦点をあて、生業と祭祀を紐帯に、苛烈な世界をたくましく生き抜いた民衆の姿を描く。

産経新聞 2022/10/16、朝日新聞 2022/10/22

2022:9./ 17p,197p
978-4-00-431942-9
¥968〔税込〕



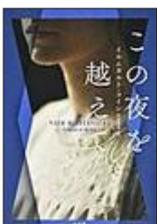
ナチ・ドイツ最後の8日間〜1945.5.1▶1945.5.8〜

Volker Ullrich 著
すばる舎

1945年4月、ヒトラーの死により時代の歯車が動き出す。首都陥落、水面下で進む降伏への交渉、大量自殺、ナチ狩り、暴力的な追放、強姦事件など、ナチ・ドイツが降伏するまでの激動の瞬間を多くの資料からたどる。

産経新聞 2022/10/22

2022:7./ 1冊
978-4-7991-1062-1
¥4,950〔税込〕



この夜を越えて

イルムガルト・コイン、田丸 理砂 著
左右社

1936年春、ヒトラーが演説に来た日のフランクフルトは、ナチスに対する熱狂と不穏な空気に包まれていた…。ワイマール時代の女性作家が、ナチスが台頭する瞬間のドイツをリアルタイムで描いた群像劇。

産経新聞 2022/10/22

2022:8./ 218p
978-4-86528-094-4
¥2,750〔税込〕





ハヤブサ消防団

池井戸 潤 著
集英社

亡き父の故郷である「ハヤブサ地区」に移り住んだミステリ作家の三馬太郎。地元の人々の誘いで消防団入りした太郎を、連続放火事件が待ち受けていた。のどかな集落に隠された真実とは…。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。

産経新聞 2022/10/23

2022:9./ 474p
978-4-08-771809-6

¥1,925〔税込〕



ウクライナの教訓～反戦平和主義が日本を滅ぼす～

潮匡人 著
育鵬社

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が日本の安全保障に与えた教訓とは。ロシアの侵攻を予測した軍事評論家が独善的な正義が覆う日本に警鐘を鳴らし、日本の安全保障と憲法改正の問題点を指摘する。『アゴラ』掲載を再構成。

産経新聞 2022/10/23

2022:9./ 254p
978-4-594-09302-0

¥1,760〔税込〕



防衛大学校～知られざる学び舎の実像～

國分 良成 著
中央公論新社

8人ひと部屋の全寮制。朝6時にラップで起床。髪型、恋愛、外出の規則。みっちり詰まった「日課時限」と陸海空1005時間の実践訓練…。他者のために生きるプライドを秘めた人材を育成する学び舎の実像を語り尽くす。

産経新聞 2022/10/23、日本経済新聞 2022/10/29

2022:8./ 317p
978-4-12-005557-7

¥2,200〔税込〕



LOVE TOGETHER～YUKIHIRO TAKAHASHI 50TH ANNIVERSARY～

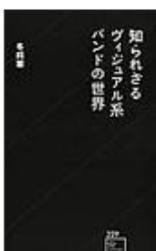
高橋 幸宏 著
KADOKAWA

長いキャリアを経て、今もなお多くの音楽ファンの熱い注目を集めるアーティスト、高橋幸宏。プロデビュー満50年を記念して、その音楽活動を細野晴臣、坂本龍一らとの対談で振り返り、彼の魅力を様々な角度から探る。

産経新聞 2022/10/30

2022:9./ 317p
978-4-04-605829-4

¥3,960〔税込〕



知られざるヴィジュアル系バンドの世界(星海社新書 229)

冬将軍 著
星海社

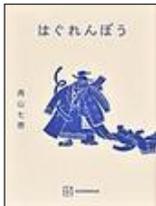
90年代、日本の多くの若者が熱狂した「ヴィジュアル系」バンドは、どう誕生し、なぜ独自の「ジャパン・カルチャー」として発展したのか？ その軌跡をファッション、漫画などさまざまな分野を通して辿っていく。

産経新聞 2022/10/30

2022:8./ 300p
978-4-06-529096-5

¥1,210〔税込〕





はぐれんぼう

青山 七恵 著

講談社

クリーニング店で働く優子は、持ち主が長く引き取りにこない衣服「はぐれんぼちゃん」たちを自宅に持ち帰る。すると翌朝、それらが体全体を覆っていて…。不可思議で切なく瑞々しい救済と癒しの物語。『群像』連載を単行本化。

産経新聞 2022/10/30

2022:9./ 344p
978-4-06-529097-2

¥2,090〔税込〕



ルイの冒険(講談社の創作絵本)

南部 和也、宇野 亜喜良、田島 征三 著

講談社

馬車の荷台で眠ってしまい、見知らぬ家まで来てしまった子猫のルイ。家に帰るため、森に入っていきますが…。宇野亜喜良と田島征三の友情共作で描く、かわいい子猫の冒険ものがたり。

産経新聞 2022/10/30

2022:9./ 32p
978-4-06-529301-0

¥1,760〔税込〕



メガネの歴史〜フォトグラフィー〜

ジェシカ・グラスコック 著

原書房

必需品か、それとも贅沢品か。13世紀に誕生した世界初の老眼鏡から、片メガネ、オペラグラス、サングラス、レディガガの奇抜なメガネまで、メガネの意外で奥深い歴史に迫る。

産経新聞 2022/10/30

2022:8./ 262p
978-4-562-07201-9

¥3,850〔税込〕



陸軍中将樋口季一郎回想録 復刻新版

樋口季一郎 著

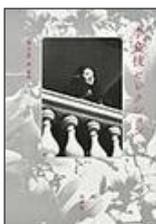
啓文社書房

1938年、ナチスの迫害から逃れたユダヤ難民を酷寒の満州で救済、43年には北方軍司令官として北太平洋のアッツ島玉砕、キスカ島無血撤退を指揮した軍人の半世紀。直筆原稿を再検証し、新たな史実を加えた復刻新版。

産経新聞 2022/10/30

2022:9./ 723p
978-4-89992-080-9

¥4,950〔税込〕



李良枝セレクション

温 又柔 編

李 良枝 著

白水社

日本と韓国、2つの「母国」の間で揺れ惑う個人の苦悩と葛藤を文学に昇華した作家、李良枝。「由熙」「除籍謄本」など、未来に託した小説とエッセイ全7編を収録。李良枝年譜も掲載する。

朝日新聞 2022/09/28

2022:9./ 443p
978-4-560-09454-9

¥3,190〔税込〕





県庁おもてなし課(角川文庫 あ 48-12)

有川 浩 著
角川書店

とある県庁に突如生まれた新部署“おもてなし課”。観光立県を目指すべく、若手職員の掛水は、地元出身の人気作家に観光特使就任を打診するのだが…。巻末には高知県庁に実在する「おもてなし課」職員と著者の鼎談を収録。

朝日新聞 2022/10/01

2013:4./ 503p
978-4-04-100784-6
¥775〔税込〕



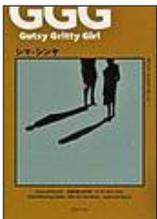
真・英文法大全～700万人を教えた著者が英語の核心を伝える～

関 正生 著
KADOKAWA

丸暗記では見えなかった英文法の「真実」を捉え、明確に解説した総合英文法書。バラエティに富み、英語学習のテンションが上がる長めの例文を多数収録する。mp3音声のダウンロードサービス付き。

朝日新聞 2022/10/01

2022:3./ 910p
978-4-04-605619-1
¥2,420〔税込〕



Gutsy Gritty Girl(BEAM COMIX)

シマ・シンヤ 著
KADOKAWA

平凡無垢な青年ハンス・カストルプははからずもスイス高原のサナトリウムで療養生活を送ることとなった。日常世界から隔離され、病気と死が支配するこの「魔の山」で、カストルプはそれぞれの時代精神や思想を体現する特異な人物たちに出会い、精神的成長を遂げてゆく。『ファウスト』と並んでドイツが世界に贈った人生の書。

朝日新聞 2022/10/01

2022:7./ 206p
978-4-04-737131-6
¥748〔税込〕



現代メディア哲学～複製技術論からヴァーチャルリアリティへ～(講談社選書メチエ 769)

山口 裕之 著
講談社

VR、AR、メタバース…。進化し続ける「メディア」とは何か。それは役に立つ実用の道具か、あるいは人々を支配する日が近づいているのか。ベンヤミンの複製技術論に遡ってメディアの本質を問い、技術の行く末を見晴らすかす。

朝日新聞 2022/10/01

2022:8./ 349p
978-4-06-529158-0
¥2,200〔税込〕



ハンナ・アレント～全体主義という悪夢～(講談社現代新書 現代新書 100 2677)

牧野 雅彦／ハンナ・アレント 著
講談社

人々を分断し、生活基盤を破壊する全体主義。分断が進み、好戦的な科学技術が発展する今日、このディストピアから逃れる方策はあるか。ナチスから逃れ、全体主義という現象に正面から向き合ったハンナ・アレントの思想を解説。

朝日新聞 2022/10/01

2022:9./ 119p
978-4-06-529540-3
¥880〔税込〕





ショーペンハウアー～欲望にまみれた世界を生き抜く～(講談社現代新書 現代新書 100 2678)

梅田 孝太／アルトゥール・ショーペンハウアー 著
講談社

苦しみと生きづらさに満ちた人生を、いかに生き抜くか。苦悩や葛藤から自由になる道を考え抜いた哲学者・ショーペンハウアーが導く、生きるヒント。生きる苦しみとの向き合い方を、2つの思想を通して示す。読書案内つき。

朝日新聞 2022/10/01

2022:9./ 125p
978-4-06-529602-8

¥880〔税込〕



差別は思いやりでは解決しない～ジェンダーやLGBTQから考える～(集英社新書 1126)

神谷 悠一 著
集英社

なぜ差別は「思いやり」の問題に回収され、その先の議論に進めないのか？ジェンダーやLGBTQに関して「思いやり」が空回りしている事例を紹介し、「思いやり」万能主義から脱却するための取り組みなどについて考える。

朝日新聞 2022/10/01

2022:8./ 221p
978-4-08-721226-6

¥902〔税込〕



覇王の譜(新潮文庫 は-80-1)

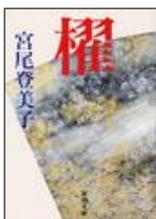
橋本 長道 著
新潮社

王座に君臨する旧友。一方こちらは最底辺。棋士・直江大の人生を掛けた巻き返しが始まる！元奨励会会員の作家が青年棋士の成長と個性あふれる棋士群像を描く、将棋エンターテインメント。『yomyom』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2022/10/01

2022:9./ 430p
978-4-10-104181-0

¥825〔税込〕



権 改版(新潮文庫)

宮尾 登美子 著
新潮社

渡世人あがりの剛直義侠の男・岩伍に嫁いだ喜和の、愛憎と忍従と秘めた情念。戦前高知の色街を背景に自らの生家を描く自伝的長編。

朝日新聞 2022/10/01

2005:11./ 598p
978-4-10-129308-0

¥990〔税込〕



天安門ファイル～極秘記録から読み解く日本外交の「失敗」～

城山 英巳 著
中央公論新社

天安門事件という戦後日中関係の「分水嶺」に日本の首相、官邸、外務省、北京の現場外交官、警察官僚らは「中国」をどう認識し、行動したのか。日本の極秘記録と政策当事者の証言に基づいて検証し、歴史の教訓を読み解く。

朝日新聞 2022/10/01

2022:7./ 390p
978-4-12-005549-2

¥2,420〔税込〕





縛られる日本人～人口減少をもたらす「規範」を打ち破れるか～(中公新書 2715)

メアリー・C・プリントン 著
中央公論新社

人口が急減する日本。なぜ出生率も幸福度も低いのか。世界的な日本研究者が、日本、アメリカ、スウェーデンの子育て世代へのインタビュー調査と国際比較データから日本の若い男女の姿を浮かび上がらせ、政策提言をおこなう。

朝日新聞 2022/10/01

2022:9./ 260p
978-4-12-102715-3

¥990〔税込〕



虚空の人～清原和博を巡る旅～

鈴木 忠平 著
文藝春秋

なぜ、清原和博に引きつけられるのか。憂鬱に苛まれながらも、その内面を探る旅を続けるのか。ベストセラー「嫌われた監督」の著者が描く薬物に堕ちた英雄の4年間と翻弄された男たちの物語。

朝日新聞 2022/10/01

2022:7./ 297p
978-4-16-391576-0

¥1,760〔税込〕



魔王の島(文春文庫 ル 8-1)

ジェローム・ルブリ 著
文藝春秋

祖母の訃報を受け、彼女は不吉な気配に満ちた孤島に渡った。かつてこの島に逗留し、のちに全員死亡した子供たちが怖れた魔王とは？ 積み重なる謎。高まりゆく不安と恐怖。果たして誰が誰を欺こうとしているのか。

朝日新聞 2022/10/01

2022:9./ 475p
978-4-16-791939-9

¥1,210〔税込〕



海がきこえる 新装版(徳間文庫 トクマの特選! ひ 15-3)

氷室冴子 著
徳間書店

大学進学で高知から上京した拓は、高校時代の転校生・里伽子が東京に戻った事を知る。気まぐれな美少女に翻弄されながら、その孤独に耳を澄ました短い日々を回想する拓に、再会の機会が訪れ…。近藤勝也のカラーイラスト付き。

朝日新聞 2022/10/01

2022:7./ 323p
978-4-19-894759-0

¥880〔税込〕



四万十川～あつよしの夏～(河出文庫)

笹山 久三 著
河出書房新社

貧しくも温かな家族に見守られて育つ少年・篤義。その夏、彼は小猫の生命を救い、同級の女の子をいじめから守るために立ちあがった……。みずみずしい抒情の中に人間の絆を問う、第二十四回文藝賞受賞作。

朝日新聞 2022/10/01

1991:1./ 204p
978-4-309-40295-6

¥748〔税込〕





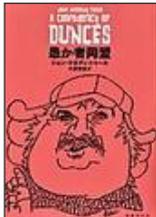
書記バートルビー/漂流船(光文社古典新訳文庫 KA×1-2)

メルヴィル 著
光文社

ウォール街の法律事務所で雇った寡黙な男バートルビーは、決まった仕事以外の用は、一切を拒絶する。彼の拒絶はさらに酷くなっていき…。不可解な人物の存在を通して社会の闇を抉る、メルヴィルの代表的中篇2作。

朝日新聞 2022/10/01

2015.9./ 347p
978-4-334-75316-0
¥1,100〔税込〕



愚か者同盟

ジョン・ケネディ・トゥール 著
国書刊行会

無職、肥満、哲学狂、傍若無人な怠け者にして口達者なひねくれ者の30歳崖っぷち問題児が、母が作った借金返済のためしぶしぶ就活を開始。ニューオーリンズの愚か者たちと大騒動を巻き起こし…。爆笑労働ブラックコメディ。

朝日新聞 2022/10/01

2022.7./ 544p
978-4-336-07364-8
¥4,180〔税込〕



性と芸術

会田 誠 著
幻冬舎

これまでさまざまに波紋を呼んできた現代美術家・会田誠の作品「犬」は、なぜ描かれたのか。その存在の理由を自らの言葉で率直に綴る。ほか、『星星峡』『幻冬舎plus』掲載の「性」に関する文章も収録する。

朝日新聞 2022/10/01

2022.7./ 212p
978-4-344-03983-4
¥1,760〔税込〕



ポタニカ

朝井まかて 著
祥伝社

小学校中退ながらも独学で植物研究に没頭した牧野富太郎。東京大学理学部植物学教室に出入りを許され、新種の発見など目覚ましい成果を上げるが…。稀代の植物学者を描く長編小説。『小説NON』連載を加筆、訂正。

朝日新聞 2022/10/01

2022.1./ 494p
978-4-396-63617-3
¥1,980〔税込〕



COVID-19の倫理学～パンデミック以後の公衆衛生～(京都大学「立ち止まって、考える」連続講義シリーズ 01)

児玉 聡 著
ナカニシヤ出版

外出自粛要請は正当化できるのか？ 限られた人工呼吸器を誰に配分するか？ 倫理学の視点から新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを検討する。京都大学の教員たちによるオンライン講義を書籍化。

朝日新聞 2022/10/01

2022.7./ 7p,243p
978-4-7795-1681-8
¥2,420〔税込〕





一本の水平線～安西水丸の絵と言葉～

安西 水丸 著
クレヴィス

真っ白な紙に引かれた一本の線。そこに愛するモチーフたちを絶妙なバランスで配置し、独自の世界を表現した絵を数多く描いた安西水丸。数万枚の原画から 70 枚を厳選し、残された言葉を添えた作品集。

朝日新聞 2022/10/01

2022:8./ 111p
978-4-909532-86-2

¥2,200〔税込〕



たとえば、葡萄

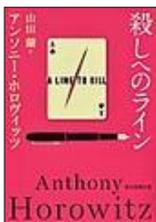
大島 真寿美 著
小学館

まったく先の見えない状態で会社を辞めた 28 歳の美月は、母の親友・市子(56 歳)の家に転がり込む。個性の強い大人に囲まれ、一緒に過ごすうち、美月は徐々に上を向き...。「今」と「これから」の物語。

朝日新聞 2022/10/01、日本経済新聞 2022/10/08

2022:9./ 249p
978-4-09-386656-9

¥1,980〔税込〕



殺しへのライン(創元推理文庫 Mホ 15-7)

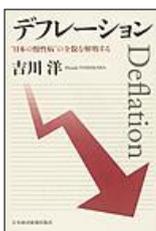
アンソニー・ホロヴィッツ 著
東京創元社

文芸フェスに参加するため、探偵ダニエル・ホーソンとアンソニー・ホロヴィッツは、オルダニー島を訪れた。フェス関係者の間に不穏な雰囲気漂うなか、そのうちのひとりが死体で発見される。現場は不可解な状況で...

朝日新聞 2022/10/01、毎日新聞 2022/10/02

2022:9./ 456p
978-4-488-26513-7

¥1,210〔税込〕



デフレーション～“日本の慢性病”の全貌を解明する～

吉川 洋 著
日本経済新聞出版社

従来議論されていたマネーサプライの調節だけでは、90 年代後半から日本が陥ったデフレ現象は解明できない。名目賃金の変化など新しい視点から「なぜ日本だけが?」の答えを捉え直す、現代デフレ論議の決定版。

朝日新聞 2022/10/08

2013:1./ 7p,236p
978-4-532-35548-7

¥1,980〔税込〕



傲慢と善良(朝日文庫 つ 20-1)

辻村深月 著
朝日新聞出版

進学、就職、恋愛、友情、結婚...。あらゆる選択を決断してきたのは本当に「私自身」なのだろうか? 忽然と姿を消した婚約者の居場所を探すため、西澤架は、彼女の過去と向き合うことになるが...。恋愛ミステリ。

朝日新聞 2022/10/08

2022:9./ 503p
978-4-02-265059-7

¥891〔税込〕





pray human(講談社文庫 ち 10-2)

崔実著
講談社

デビュー作が芥川賞候補になったわたしは、あることをきっかけに封印した記憶を甦らせていく。精神病棟で出会った仲間たちとの日々、救えなかった親友、そして-。傷ついた魂の再生を描いた物語。

朝日新聞 2022/10/08

2022:9./ 233p
978-4-06-528614-2

¥682〔税込〕



時計遺伝子～からだの中の「時間」の正体～(ブルーバックス B-2214)

岡村均著
講談社

体内時計とは何か？生体リズムはどのように生まれるのか？睡眠、血圧など様々な体の機能に関わる時計遺伝子について、その分子機構から睡眠障害、生活習慣病の関係までを、哺乳類における生体リズム研究の第一人者が解説。

朝日新聞 2022/10/08

2022:9./ 249p
978-4-06-529390-4

¥1,100〔税込〕



「強い円」はどこへ行ったのか(日経プレミアシリーズ 481)

唐鎌大輔著
日経BP社

50年ぶりの円安水準に直面した日本経済。円相場を取り巻く環境に、何が起きているのか。人気アナリストが背景にある構造要因を冷静に分析。将来に向け捉えるべき課題を整理する。

朝日新聞 2022/10/08

2022:9./ 203p
978-4-296-11506-8

¥990〔税込〕



マンガと図鑑でおもしろい!わかる元素の本

うえたに夫婦著
大和書房

宇宙船でやってきた周期表君といっしょに地球上の元素をすべて探しだせ!身のまわりの物に含まれる元素などをマンガやイラストで解説し、少し上級者向けのプチ情報も紹介する。各元素の図鑑も収録。

朝日新聞 2022/10/08

2020:6./ 191p
978-4-479-39345-0

¥1,650〔税込〕



無限の玄/風下の朱(ちくま文庫 こ 55-1)

古谷田 奈月著
筑摩書房

宮嶋玄は、家でひとり死んだにもかかわらず、なぜか毎日蘇っては死に続ける。その不条理な繰り返しに息子たちは苛まれていき…。三島賞受賞作「無限の玄」と、芥川賞候補作「風下の朱」をカップリング収録。

朝日新聞 2022/10/08

2022:9./ 204p
978-4-480-43844-7

¥748〔税込〕





怖い家～伝承、怪談、ホラーの中の家の神話学～

沖田 瑞穂 著
原書房

家には一体何が「いる」？ 今昔物語集、白雪姫のこびとの家、屋敷神、天空の城ラピュタ、奇子…。神話や昔話から現代のフィクションまで、家をめぐる恐怖が表すものは何なのかを、神話学から読み解く。

朝日新聞 2022/10/08

2022:8./ 229p
978-4-562-07202-6

¥2,530〔税込〕



奴隷会計～支配とマネジメント～

ケイトリン・ローゼンタール 著
みすず書房

快適な会計室に身を置く者にとって、人間の数を単に紙の上の数字と見なし、男、女、子供をただの労働力と考えるのは、恐ろしくなるほど簡単なのである。奴隷制と会計技術のわがちがたい関係を、豊富な帳簿史料で実証する。

朝日新聞 2022/10/08

2022:8./
11p,249p,74p
978-4-622-09524-8

¥4,950〔税込〕



日本が先進国から脱落する日～“円安という麻薬”が日本を貧しくした!!～

野口悠紀雄 著
プレジデント社

日本人の給料はなぜ上がらないのか？ 円の購買力は 70 年代に逆戻り、日本の賃金は OECD で最下位クラス…。日本は「先進国」と言えなくなってしまう。“安い日本”の原因を解き明かし、2040 年を大予測する。

朝日新聞 2022/10/08

2022:3./ 281p,5p
978-4-8334-2451-6

¥1,870〔税込〕



相棒は秋田犬～現代の縄文犬と共に過ごした 3989 日～

村山二郎 著
カンゼン

世界的人気を誇る日本犬、秋田犬。賢くて凛々しい秋田犬に憧れ共に暮らした著者が、試行錯誤を繰り返しながら体当たりで関係を築きつつ、犬も人も共に成長していく過程を綴る。写真やイラストも掲載。

朝日新聞 2022/10/08

2022:9./ 238p
978-4-86255-662-2

¥1,760〔税込〕



キツネ潰し～誰も覚えていない、奇妙で残酷で間抜けなスポーツ～

ナショナル ジオグラフィック 編
エドワード・ブルック＝ヒッチング 著
日経ナショナルジオグラフィック社

ヨーロッパ貴族が行っていた残酷な遊び、人々のうっぴんを晴らすような暴力的な試合、失われてしまった古のスポーツ…。素朴すぎる昔の遊びから、野蛮で愚かな競り合いまで、98 の残念なスポーツを紹介する。

朝日新聞 2022/10/08

2022:8./ 318p
978-4-86313-551-2

¥2,200〔税込〕





ひとかけらの木片が教えてくれること～木材×科学×歴史～

田鶴寿弥子 著

淡交社

人がいかに木と向かい合ってきたのかを、ひとかけらの木片が教えてくれる。仏像・神像、狛犬、歴史的建造物から入れ歯まで、様々な文化財に用いられた樹種を科学的な方法で同定し、「人と木の文化」を明らかにする。

朝日新聞 2022/10/08、読売新聞 2022/10/16

2022:8./ 231p
978-4-473-04499-0

¥1,980〔税込〕



小さきものの近代<1>

渡辺京二 著

弦書房

近代国民国家建設の過程で、支配される人びと=小さき人びとが、自身の<近代>を創り出すためにどのように心を尽くしたかを描く壮大な物語。1は「徳川社会」「開国と攘夷」等を収録。『熊本日日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/10/08、読売新聞 2022/10/16

2022:7./ 5p,303p
978-4-86329-248-2

¥3,300〔税込〕



文にあたる

牟田 都子 著

亜紀書房

書物へのとまらない想い、言葉との向きあい方、仕事に取りくむ意識…。<本を読む仕事>という天職に出会って10年と少し。無類の本読みでもある校正者が、本の読み方、本とのつき合い方、本への思いのたけを綴る。

朝日新聞 2022/10/08、毎日新聞 2022/10/15、東京・中日新聞 2022/10/16、日本経済新聞 2022/10/22

2022:8./ 255p
978-4-7505-1754-4

¥1,760〔税込〕



近代日本の中国観～石橋湛山・内藤湖南から谷川道雄まで～(講談社選書メチエ 679)

岡本 隆司 著

講談社

石橋湛山、内藤湖南、矢野仁一、橘樸…。東洋史の学統に連なる多士済々の俊秀たちは、いかに中国と格闘したか。その論述をていねいに読み直し、「日本人と中国」という有史以来の大テーマに挑む。

朝日新聞 2022/10/15

2018:7./ 229p
978-4-06-512352-2

¥1,705〔税込〕



非戦の安全保障論～ウクライナ戦争以後の日本の戦略～(集英社新書 1132)

自衛隊を活かす会 編

柳澤 協二／伊勢崎 賢治／加藤 朗／林 吉永 著

集英社

ロシア軍のウクライナ侵攻が突きつけた現状の国際秩序の問題点と、日本の安全保障をめぐる環境の変化と対応策を4人の専門家が語り合い、徹底的に戦争を回避する国家としての日本の在り方、「非戦の安全保障論」を示す。

朝日新聞 2022/10/15

2022:9./ 221p
978-4-08-721232-7

¥990〔税込〕





アヘン王国潜入記(集英社文庫 た 58-7)

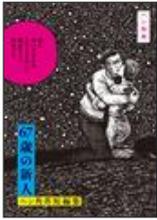
高野 秀行 著

集英社

朝日新聞 2022/10/15

2007:3./ 387p
978-4-08-746138-1

¥924〔税込〕



67歳の新人 ハン角斉短編集(ビッグ コミックス)

ハン角斉 著

小学館

67歳の新人、デビュー！奇跡の初単行本！ プロ漫画家たちも称賛する 圧倒的な原石！ 衝撃作『山で暮らす男』で新人賞を受賞し、業界を騒然とさせた67歳の新人・ハン角斉。漲る初期衝動と独自の世界観でプロも称賛する氏の読切6編を収めた奇跡の初単行本！池上遼一氏、感嘆！「漫画であり、漫画の範疇をも超えた深い読後感！毒、狂気じみた人物像、常識がくるわさされていく違和感、エロティシズム...カフカやカミュのような不条理文学を彷彿とさせる。異才だ！」【編集担当からのおすすめ情報】 作者・ハン角斉氏より この度は『六十七歳の新人 ハン角斉短編集』ご購入ありがとうございます。この本のタイトルですけど「北海道の原始林で老いた珍獣発見！」って感じで迫力があるんですけど、さすがに恥ずかしいです... 私は北海道で生まれ、今も十勝地方で生息しています。漫画家になるのは小一の時から夢でした。しかし、画力は伸びずストーリーも全く作れず高校に入る頃には挫折してしまいました。夢が破れても生きて行かねばなりません。柔道整復師の資格を取り整骨院を開業しました。しかし患者数が全く伸びず、仕事は暇でした。暇のまま時だけが過ぎて行きました。暇を持てあましていた私は、四十五歳にして再び漫画家をめざす事にしました。しかしコンテストには二十回以上落選を続け、夢は叶う事なく、五十歳...六十歳と私は老化して行きました。でも挫折する事はありませんでした。なぜなら、私は漫画を描く事が習慣になってしまっていたからです。習慣になった私の漫画を、すこし以上に楽しんで読んでいただけたら幸いです。 二〇二二年八月十日 ハン角斉

2022:10./ 216p
978-4-09-861412-7

¥715〔税込〕



朝日新聞 2022/10/15



商う狼〜江戸商人杉本茂十郎〜(新潮文庫 な-107-2)

永井 紗耶子 著

新潮社

甲斐の農家から江戸の飛脚問屋の養子となった茂十郎は、永代橋の崩落事故で妻と跡取り息子を失う。その悲しみを糧に、三橋会所頭取となり橋の運営に要する費用を集め...。江戸の繁栄に生涯を捧げた実在の改革者に迫る歴史小説。

2022:10./ 400p
978-4-10-102882-8

¥781〔税込〕



朝日新聞 2022/10/15



イオカステの揺籃

遠田 潤子 著

中央公論新社

英樹はバラが咲き乱れる家で育った。美しい母、仕事人間の父、自由に生きる妹。ごく普通の家族のはずだったが、妻が妊娠し、生まれてくる子が男の子だとわかった途端、母が壊れはじめ...。『読売新聞オンライン』掲載を書籍化。

2022:9./ 394p
978-4-12-005568-3

¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2022/10/15



幸福な監視国家・中国(NHK 出版新書 595)

梶谷 懐、高口 康太 著

NHK出版

習近平体制下で、政府・大企業が全人民の個人情報・行動記録を手中に収めているが、その監視社会に中国人のほとんどが不満を抱いていない。それはなぜか。気鋭の経済学者とジャーナリストが中国のいまを多角的に掘り下げる。

朝日新聞 2022/10/15

2019:8./ 254p
978-4-14-088595-6

¥935〔税込〕



一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53)

ジョージ・オーウェル 著

早川書房

〈ビッグ・ブラザー〉率いる党が支配する超全体主義的近未来。ウィンストン・ミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史の改竄が仕事だった。しかし彼は、以前より完璧な屈従を強いる体制に不満を抱いていた。ある時、奔放な美女ジュリアと出会ったことを契機に、伝説的な裏切り者が組織したと噂される反政府地下活動に惹かれるようになるが.....。

朝日新聞 2022/10/15

2009:6./ 511p
978-4-15-120053-3

¥990〔税込〕



すばらしい新世界 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 86)

オルダス・ハクスリー 著

早川書房

人間は受精卵の段階から選別され、徹底的に管理・区別されている世界。あらゆる問題は消え、幸福が実現された美しい世界で、孤独な青年バーナードは、保護区で野人ジョンに出会い...。ディストピア小説の歴史的名作。

朝日新聞 2022/10/15

2017:1./ 373p
978-4-15-120086-1

¥880〔税込〕



大名倒産<上>(文春文庫 あ 39-20)

浅田 次郎 著

文藝春秋

泰平の世に積もりに積もった大借金に嫌気のさした先代は、縁の薄い末息子に腹を切らせて、ひそかに「倒産」の準備を進め逃げ切りを狙う。そうとは知らぬ若殿は、参勤行列の費用をひねり出そうとするが...

朝日新聞 2022/10/15

2022:9./ 383p
978-4-16-791928-3

¥858〔税込〕



大名倒産<下>(文春文庫 あ 39-21)

浅田 次郎 著

文藝春秋

美しい故郷とお家を守りたい。若殿のなりふり構わぬ姿に、国家老が、商人と民が、そして金が動き始める。人の世を眺めていた七福神まで巻き込んで、奇跡の「経営再建」は成るか? エンタメ時代小説。

朝日新聞 2022/10/15

2022:9./ 391p
978-4-16-791929-0

¥858〔税込〕





60歳すぎたらやめて幸せになれる 100のこと(TJ MOOK)

宝島社

もの、時間、お金、人間関係、習慣、健康、明日への準備…。人生のエンディングを悔いなく飾るために、60歳をすぎたら大事になってくる「やめる」「捨てる」の具体策やアイデアを紹介します。書き込みシートあり。

朝日新聞 2022/10/15

2021:11./ 79p
978-4-299-02167-0

¥689〔税込〕



噺家小三治

橘 蓮二 編

河出書房新社

その人を想えばいつでも会うことができる-。2021年10月、ふらりとこの世を去った十代目柳家小三治。その高座と素顔を、元マネージャーなど近しい関係者の言葉や、橘蓮二の写真とともにたどる。

朝日新聞 2022/10/15

2022:10./ 141p
978-4-309-25681-8

¥2,585〔税込〕



ウクライナ侵攻とロシア正教会～この攻防は宗教対立でもある～(KAWADE 夢新書 S439)

角 茂樹 著

河出書房新社

なぜ、ロシア正教会は「戦争」を支持するのか？ロシアによるウクライナ侵攻は、ロシアおよびウクライナと正教会がどう関わってきたのかを知らずして理解できない。元・駐ウクライナ大使が、複雑な問題の根源を説く。

朝日新聞 2022/10/15

2022:8./ 221p
978-4-309-50439-1

¥979〔税込〕



雪の鉄樹(光文社文庫 と 22-2)

遠田 潤子 著

光文社

母は失踪。祖父と父に育てられた庭師の雅雪は、両親を失った少年・遼平の世話をしてきた。しかし遼平の祖母は雅雪に冷たく当たり…。耐え続ける男と少年の交流を軸に、「償いと報い」を正面からとらえたサスペンス。

朝日新聞 2022/10/15

2016:4./ 461p
978-4-334-77273-4

¥902〔税込〕



オブリヴィオン(光文社文庫 と 22-3)

遠田 潤子 著

光文社

娘の目の前で妻を殺した森二が、刑期を終えたとき、彼の「奇跡」と「罪」が結びつける2人の<兄>が待っていた。憎しみと欲望が、森二の廻りを渦巻き、暴走する。森二は人と自分を救う「奇跡」を起こせるのか!?

朝日新聞 2022/10/15

2020:3./ 444p
978-4-334-79001-1

¥858〔税込〕





ウクライナ戦争と米中対立～帝国主義に逆襲される世界～(幻冬舎新書 み-7-1)

峯村健司、小泉悠、鈴木一人、村野将、小野田治、細谷雄一 著

幻冬舎

世界は国家が力を剥き出しにして争う 19 世紀の帝国主義に回帰するのか？ 台湾有事は起こるのか？ 米中関係に精通するジャーナリストが、国際政治のエキスパート 5 人と激論を戦わせ、これからの世界の勢力図を描き出す。

朝日新聞 2022/10/15

2022:9./ 332p
978-4-344-98670-1

¥1,210 [税込]



落花狼藉(双葉文庫 あ-62-02)

朝井まかて 著

双葉社

江戸時代初期、徳川幕府公認の傾城町・吉原が誕生した。吉原一の大見世「西田屋」女将の花仍は、夫・甚右衛門を支えながら店を切り盛りしていた。江戸随一の遊廓・吉原の黎明と、そこに生きる人々の悲喜交々を描く。

朝日新聞 2022/10/15

2022:8./ 404p
978-4-575-52590-8

¥836 [税込]



中国共産党の歴史

高橋 伸夫 著

慶應義塾大学出版会

一党独裁を強化し、国際的影響力を強める中国共産党。壮大な理想とリアリズムの間で揺れ動いた毛沢東、鄧小平、習近平らの思想と行動と、彼らが引き起こした歴史的事件を通じてその実像を解き明かす。

朝日新聞 2022/10/15

2021:7./ 3p,347p,29p
978-4-7664-2754-7

¥2,970 [税込]



レッド・ルーレット～私が陥った中国バブルの罫～

デズモンド・シャム 著

草思社

上海の貧しい教師の家に生まれ、改革開放経済の上げ潮に乗って大成功するも、習近平体制下の腐敗一掃で破滅、2017 年に拉致された元妻は今も消息不明…。現代中国の新富裕層の成立と運命を生々しく回想する。

朝日新聞 2022/10/15

2022:9./ 317p,10p
978-4-7942-2599-3

¥2,860 [税込]



古本探究

小田 光雄 著

論創社

講談社版「世界名作全集」、鶴田久作と国民文庫刊行会、宮武外骨と円本時代など、「古本」に焦点をあてることで、出版にまつわる数々の知られざる物語を白日の下に照らし出す。未知の世界を巡る異色の出版史。

朝日新聞 2022/10/15

2009:1./ 257p
978-4-8460-0700-3

¥2,750 [税込]





出版状況クロニクル

小田 光雄 著

論創社

出版業界はどこまで沈んでいくのか。2007年8月から2009年3月までの「出版状況」を、関連する業界の動向を踏まえて横断的にまとめ、その危機の実態を分析する。

朝日新聞 2022/10/15

2009:5./ 229p
978-4-8460-0861-1
¥2,200〔税込〕



リプロが本屋であったころ(出版人に聞く 4)

中村 文孝 著

論創社

出版業界で特に逼迫している書店。このまま座しては、ただ消えゆくのを待つばかりだ。芳林堂書店、リプロ、ジュンク堂書店を経て、ブックエンドLLPを立ち上げた著者が、出版をめぐる出来事を語る。

朝日新聞 2022/10/15

2011:5./ 8,185p
978-4-8460-0889-5
¥1,760〔税込〕



全国に30万ある「自治会」って何だ!

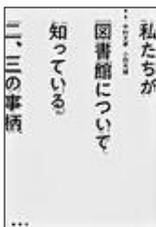
小田光雄 / 中村文孝 著

論創社

「自治会」はなぜ存在するのか? 自治会長をつとめた2人が、自治会をめぐる様々なことからテーマに対談。自治会の実態は「行政の下請け」であると語り、その仕組みも「大政翼賛会」を下敷きにしていると論破する。

朝日新聞 2022/10/15

2021:11./ 8p,158p
978-4-8460-2116-0
¥2,200〔税込〕



私たちが図書館について知っている二、三の事柄

中村文孝/小田光雄 著

論創社

1970年代を嚆矢とする<図書館>の成長を、1990年代から始まる<書店>の衰退を視野に入れて考察。出版業をとりまく数々の環境を踏まえて、図書館の在るべき姿を模索する対談集。

朝日新聞 2022/10/15

2022:8./ 9p,304p
978-4-8460-2179-5
¥2,200〔税込〕



T for Me〜ピーター・バラカンTシャツ・コレクション〜

ピーター・バラカン 著

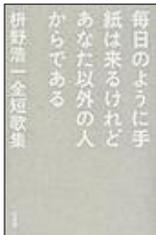
駒草出版

カジュアルなのに崩れない、どこか品があってカッコいい。ピーター・バラカンのふだん使いのお気に入りTシャツをオールカラーで紹介する。伊藤あしゅら紅丸との対談「Tシャツがファッション・アイテムになった時代」も収録。

朝日新聞 2022/10/15

2022:9./ 174p
978-4-909646-62-0
¥2,200〔税込〕





毎日のように手紙は来るけれどあなた以外の入からである～柘野浩一全短歌集～

柘野 浩一 著
左右社

こんなにもふざけたきょうがある以上どんなあすでもありうるだろう 歌人・柘野浩一のデビュー25周年を記念した全短歌集。未収録作なども収める。特別葉「俵万智と柘野浩一の往復書簡」付き。

朝日新聞 2022/10/15、朝日新聞 2022/10/23

2022:9./ 381p
978-4-86528-099-9
¥2,530〔税込〕



自発的隷従の日米関係史～日米安保と戦後～

松田 武 著
岩波書店

日米関係を「対等な関係」とは程遠いものにさせている原因は何か。日米安保体制の歴史的構造を、アメリカ史と日米関係史の観点から多角的に解明し、日本とアメリカの両者がたどった複雑な歩みを炙り出す。英語版も同時刊行。

朝日新聞 2022/10/15、東京・中日新聞 2022/10/23

2022:8./
12p,178p,30p
978-4-00-061551-8
¥3,520〔税込〕



語学の天才まで1億光年

高野 秀行 著
集英社インターナショナル

インドで身ぐるみ剥がされ英語が上達、麻薬王のアジトでビルマ語学習…。学んだ言語は25以上。辺境ノンフィクション作家の超ド級語学体験記。語学上達のヒントも満載。note連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2022/10/15、東京・中日新聞 2022/10/30

2022:9./ 334p
978-4-7976-7414-9
¥1,870〔税込〕



戦争と罪責(岩波現代文庫 社会 332)

野田 正彰 著
岩波書店

集団に順応することを求められる社会において、抑圧された「個」の感情をいかにして回復するのか？ 精神医学者が、戦場で残虐行為を行った兵士たちへの丹念な聞き取りを通して、心の中の欠落と抑圧を解明する。

朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 4p,399p
978-4-00-603332-3
¥1,518〔税込〕



ガリバー旅行記

ジョナサン・スウィフト 著
朝日新聞出版

次々に起きる出来事、たっぶりの諷刺、理屈ぬきの面白さ！世界中の子どもと大人が読みつづける18世紀の名作「ガリバー旅行記」。柴田元幸による『朝日新聞』金曜日夕刊の翻訳連載を単行本化。注釈、解説付き。

朝日新聞 2022/10/22

2022:10./ 491p
978-4-02-251865-1
¥2,200〔税込〕





民主化する中国～習近平がいま本当に考えていること～(講談社文庫 に39-1)

丹羽 宇一郎 著

講談社

中国国家主席として君臨している習近平は本当に独裁主義、覇権主義なのか。共産党の支配はどこまでも続くのか。習近平をよく知る元大使が中国の未来を読み解き、日本は巨大化した中国とどう向き合うべきなのかを語る。

朝日新聞 2022/10/22

2022:9./ 259p
978-4-06-529318-8

¥726〔税込〕



孤島の飛来人

山野辺 太郎 著

中央公論新社

無人のはずの北硫黄島に住む人々、戦争の記憶、看守と囚人、6色の風船…。仕事を空を飛んで、この島にやってきた「僕」に、人生2度目の決行のときが近づく。『文藝』2019年冬季号掲載に書き下ろしを加える。

朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 195p
978-4-12-005563-8

¥1,760〔税込〕



わがままな選択

横山 拓也 著

河出書房新社

子供はつくらない、はずだった-。妻の妊娠と、母の再入院。正解のない問いの果てに辿りついた答えとは-。2つの命をめぐる葛藤を軽やかに綴った家族小説。舞台作品「肅々と運針」を原案とした書き下ろし小説。

朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 216p
978-4-309-03058-6

¥1,793〔税込〕



アゲインスト・デモクラシー<上>

ジェイソン・ブレナン 著

勁草書房

民主主義以外の選択肢は本当にありえないのか? 政治科学と政治哲学に蓄積された「学術的知見」に基づいて議論する。また、デモクラシーの代替案としてエピストクラシー(知者による支配)に焦点を当て、その試行を擁護する。

朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 27p,234p
978-4-326-35186-2

¥3,520〔税込〕



アゲインスト・デモクラシー<下>

ジェイソン・ブレナン 著

勁草書房

民主主義以外の選択肢は本当にありえないのか? 政治科学と政治哲学に蓄積された「学術的知見」に基づいて議論する。また、デモクラシーの代替案としてエピストクラシー(知者による支配)に焦点を当て、その試行を擁護する。

朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 6p,201p,30p
978-4-326-35187-9

¥3,300〔税込〕





図書館の日本文化史(ちくま新書 1682)

高山 正也 著

筑摩書房

日本では古来さまざまな形で書籍が蓄積され、8世紀の芸亭以来、書籍の公共圏として図書館がつくられてきた。様々な役割を担う図書館が、日本でいかにして発展してきたのかを、文字や印刷・出版の総合的な文化史として描く。

朝日新聞 2022/10/22

2022:9./ 296p,6p
978-4-480-07508-6

¥1,012〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 5 0 8 6 *



オンガクハ、セイジデアル(ちくま文庫 ふ 52-3)

ブレイデイ みかこ 著

筑摩書房

移民差別と反ヘイト。拡大するアンダークラス…。イギリスの出来事が、その先の未来と、今の壊れた日本を予見する。ロックと英国の社会・政治を斬った「アナキズム・イン・ザ・UK」の前半部に、web 掲載を増補し文庫化。

朝日新聞 2022/10/22

2022:9./ 332p
978-4-480-43810-2

¥858〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 8 1 0 2 *



セックスロボットと人造肉~テクノロジーは性、食、生、死を“征服”できるか~

ジェニー・クリーマン 著

双葉社

欲望のために所有するロボットの伴侶、命を奪わず肉食も続けられる培養肉、簡単にこの世を去れる自殺マシン…。様々な命題が絡み合う先端技術の現場とそのプレイヤーたち取材し、その虚実と21世紀の人間性のゆくえを問う。

朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 427p
978-4-575-31736-7

¥2,750〔税込〕



* 9 7 8 4 5 7 5 3 1 7 3 6 7 *



教養としての決済

ゴットフリート・レイブランド/ナターシャ・デ・テラン 著

東洋経済新報社

人は決済に囲まれて生きている。決済の過程では何が起きているのか? どのようにお金が動き、誰がコントロールしているのか? SWIFT の元 CEO が、「支払い」の歴史・仕組みなど世界を動かすお金の裏側を解説する。

朝日新聞 2022/10/22、読売新聞 2022/10/30

2022:9./ 417p,14p
978-4-492-68149-7

¥2,200〔税込〕



* 9 7 8 4 4 9 2 6 8 1 4 9 7 *



民主主義のルールと精神~それはいかにして生き返るのか~

ヤン=ヴェルナー・ミュラー 著

みすず書房

民主主義者を標榜しつつ、民主主義を骨抜きにしようとしている専制主義的リーダーたち。各地で起きている現象を分析しつつ、民主主義の原理を明快に説き、政治とは、民主主義のインフラストラクチャーとは何かを明らかにする。

朝日新聞 2022/10/22、日本経済新聞 2022/10/29

2022:8./ 231p,39p
978-4-622-09099-1

¥3,960〔税込〕



* 9 7 8 4 6 2 2 0 9 0 9 9 1 *



君のクイズ

小川哲 著

朝日新聞出版

クイズ番組の決勝に出場した三島玲央は、対戦相手が問題が読まれぬうちにボタンを押し正解し、優勝を果たすという不可解な事態を訝しむ。決勝を1問ずつ振り返る三島はやがて…。『小説トリッパー』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2022/10/29

2022:10./ 190p
978-4-02-251837-8

¥1,540〔税込〕



地の果て至上の時(講談社文芸文庫 な A8)

中上 健次 著

講談社

弟殺しで服役していた竹原秋幸が、故郷熊野へ帰ってきた。だが秋幸不在の3年間に、土地も人も変化していた。父子の確執、「路地」の消滅、容赦ない資本の流入…。秋幸と紀州をめぐる壮大な物語。

朝日新聞 2022/10/29

2012:8./ 541p
978-4-06-290171-0

¥2,530〔税込〕



新海誠～国民的アニメ作家の誕生～(集英社新書 1137)

土居 伸彰 著

集英社

「君の名は。」「天気の子」…日本人の心を掴む創作のメソッドとは。個人制作出身の「異端児」から国民的アニメ作家になった新海誠の魅力を、世界のアニメーションの歴史を起点に分析する。

朝日新聞 2022/10/29

2022:10./ 230p
978-4-08-721237-2

¥990〔税込〕



君が異端だった頃(集英社文庫 し 24-7)

島田 雅彦 著

集英社

3月生まれの幼年期から、めくるめく修業時代を経て、鮮烈なデビューへ。文豪たちとの愛憎劇と、妻がある身の最低男の、華麗なる遍歴と、不埒な煩悶と。島田雅彦による自伝的青春私小説。

朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 340p
978-4-08-744422-3

¥836〔税込〕



ぼくらは、まだ少し期待している

木地雅映子 著

中央公論新社

高校3年生の土橋輝明は、同学年の秦野あさひと「優等生」同士の腐れ縁。ある日、あさひに相談を持ちかけられた輝明は、予想外の内容に驚き、席を立ってしまう。翌日、彼女が失踪したことを知った輝明は、その行方を追って…。

朝日新聞 2022/10/29

2022:10./ 344p
978-4-12-005576-8

¥2,035〔税込〕





人類の起源～古代 DNA が語るホモ・サピエンスの「大いなる旅」～(中公新書 2683)

篠田 謙一 著
中央公論新社

アフリカで誕生したホモ・サピエンスは、どのように全世界に広がったのか。アジア集団の遺伝的多様性の理由とは…。人類学の第一人者が、古代 DNA 研究の最新成果から人類の起源の謎を解き明かす。

朝日新聞 2022/10/29

2022:2./ 5p,294p
978-4-12-102683-5

¥1,056〔税込〕



格差の起源～なぜ人類は繁栄し、不平等が生まれたのか～

オデッド・ガロー/柴田 裕之 著
NHK出版

19世紀以降、社会は急激に繁栄に向かったが、それは世界の一部にとどまり、そのせいで著しい格差が生じた。統一成長理論に基づいて、成長と格差の謎を解明し、格差の軽減を助ける手掛かりを示す。

朝日新聞 2022/10/29

2022:9./ 333p
978-4-14-081911-1

¥2,530〔税込〕



直立二足歩行の人類史～人間を生き残らせた出来の悪い足～

ジェレミー・デシルヴァ 著
文藝春秋

なぜ人間だけが二足歩行動物として生き延びたのか。足・足首を専門とする人類学者が、古人類学のレジェンドから現代人の歩き方まで、研究現場を訪ね歩いてたどりついた、「二本足が人間に人間性をもたらした」真実を伝える。

朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 437p
978-4-16-391583-8

¥2,860〔税込〕



あなたのことが知りたくて～小説集韓国・フェミニズム・日本～(河出文庫 チ7-1)

チョ・ナムジュ/デユナ/西 加奈子/ハン・ガン/深緑 野分/イ・ラン/小山田 浩子/パク・ミンギョ/高山 羽根子/松田 青子 著
河出書房新社

夫と別れたママ友同士の愛と連帯を描いた「離婚の妖精」をはじめ、日本と韓国の人気作家による全12編の短編小説を収録。12名の作家が響きあう、心震えるアンソロジー。『文藝』など掲載を書籍化。

朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 285p
978-4-309-46756-6

¥990〔税込〕



社会主義前夜～サン=シモン、オーウェン、フーリエ～(ちくま新書 1688)

中嶋 洋平 著
筑摩書房

19世紀初頭、フランス革命と産業革命によって荒廃し、格差で分断された社会をどのように建て直すのか。この課題に取り組んだサン=シモン、オーウェン、フーリエの思想と行動を描く。

朝日新聞 2022/10/29

2022:10./ 269p
978-4-480-07510-9

¥968〔税込〕





あの本は読まれているか(創元推理文庫 Mフ 39-1)

ラーラ・ブレスコット 著
東京創元社

反体制とみなされ、共産圏で禁書となっている小説「ドクトル・ジバゴ」をソ連国民の手に渡し、迫害を行っているソ連の現状を知らしめる。冷戦下、一冊の小説を武器とし、危険な任務に挑む女性たちを描くエンターテインメント。

朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 522p
978-4-488-27007-0
¥1,320〔税込〕



<サラリーマン>のメディア史

谷原 史 著
慶應義塾大学出版会

スーツを着て職場に毎朝通勤し、仕事をするサラリーマン。昭和・平成の映画、雑誌、ドラマ、漫画など、サラリーマンがサラリーマンをまなざすメディアを分析し、大衆化と差異化という視点から<普通の人々>の通史を描く。

朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 6p,281p
978-4-7664-2832-2
¥2,640〔税込〕



<サラリーマン>の文化史～あるいは「家族」と「安定」の近現代史～

鈴木 貴宇 著
青弓社

マスとしてだけ語られがちなサラリーマン。1910～60年代を対象に、彼らの心情が反映された文学作品などを取り上げ、その背後にある社会状況を読解。「安定と平凡な家庭生活」の代償に働き続けた彼らの表情を描出する。

朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 471p
978-4-7872-3509-1
¥4,400〔税込〕



現代小説の方法 増補改訂版

高澤秀次 編
中上健次 著
作品社

いま、小説はいかに可能か。壮大な物語世界を背景に、現代文学の異形の巨人が語る小説作法。著者絶頂期の表題作と同時期の発言「音の人 折口信夫」「坂口安吾・南からの光」を増補した改訂版。

朝日新聞 2022/10/29

2022:8./ 281p
978-4-86182-929-1
¥2,860〔税込〕



レペゼン母

宇野 碧 著
講談社

梅農家を営むおかんの唯一の気かりは、借金まみれのダメ息子・雄大のこと。ある日、偶然にも雄大がラップバトルの大会に出場することを知り、明子はマイクを握り立ち上がる…。『小説現代』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2022/10/02

2022:8./ 283p
978-4-06-527646-4
¥1,540〔税込〕





歴史の本棚

加藤 陽子 著
毎日新聞出版

研究書、小説、ノンフィクション、エッセイ、写真集など、日本近現代史の泰斗が、その感性で sukui 上げた名著を紹介。世の中の動きや世界の情勢に読者の目を向けさせる書評集。『毎日新聞』『論座』他掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2022/10/02

2022:8./ 253p
978-4-620-32749-5
¥1,760〔税込〕



カリブ海の黒い神々〜キューバ文化論序説〜

越川芳明 著
作品社

詩、絵画、映画、宗教、逃亡奴隷、移民、製糖…。アフロ宗教の司祭の資格を持つ著者によるキューバ論。ディアスポラの文化や歴史を縦横に論じ、「老人と海」のまったく新たな読み解きへと誘う。

東京・中日新聞 2022/10/02

2022:8./ 344p
978-4-86182-926-0
¥2,970〔税込〕



夢の家

魚住 陽子 著
駒草出版

画家の女性と彼女がかつて共に暮らした男性との愛憎を、互いの心情描写で綴った表題作をはじめ、「シェード」「旅装」など全6編を収録。自らの感情に向き合う強さを感じさせる珠玉の短編集。

東京・中日新聞 2022/10/02

2022:6./ 267p
978-4-909646-55-2
¥1,980〔税込〕



復興を生きる〜東日本大震災被災地からの声〜

河北新報社編集局 著
岩波書店

「復興」とは何か? 被災地・宮城に拠点を置く地元紙が、風評の実相、まちづくり、被災者支援など12のテーマについて膨大な証言や資料を掘り起こし、復興のプロセスを課題ごとに丁寧に解き明かす。震災年表も掲載。

東京・中日新聞 2022/10/09

2022:8./ 11p,291p
978-4-00-061554-9
¥2,970〔税込〕



ハイエクといっしょに現代社会について考えよう

蔵 研也 著
春秋社

ハイエクが著した主要な信条や理論、問題意識を大まかになぞりながら、現代の世界経済について検討し、彼の思想の有効性を再検討。特に、日本の経済社会のおかれている特殊な状況について考察する。

東京・中日新聞 2022/10/09

2022:9./ 2p,235p,17p
978-4-393-61118-0
¥2,420〔税込〕





嫌いなら呼ぶなよ

綿矢 りさ 著
河出書房新社

妻の親友の家に招かれた僕。だが突然僕の行動をめぐるミニ裁判が始まり…。表題作をはじめ、心に潜む“明るすぎる闇”に迫る全4作を収録する。『すばる』『文藝』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

東京・中日新聞 2022/10/09、朝日新聞 2022/10/22、読売新聞 2022/10/30

2022.7./ 207p
978-4-309-03048-7
¥1,540〔税込〕



中上健次論

渡邊英理 著
インスクリプト

路地を舞台とする中上健次の小説群、路地小説をめぐる考察。中上文学を(再)開発文学の視座から捉え、複数の方向に開かれた路地の「仮設」性に、脱国家・脱資本を志向する<路地のビジョン>=中上思想の核心を見出す。

東京・中日新聞 2022/10/09、朝日新聞 2022/10/29

2022.7./ 517p
978-4-900997-86-8
¥4,400〔税込〕



呑み込まれた男

エドワード・ケアリー 著
東京創元社

ピノッキオを捜すうち巨大な魚に呑み込まれたジュゼッペ老人は、そこで見つけた帆船の航海日誌に自分の人生を綴り…。鬼才エドワード・ケアリーが描く、もうひとつのピノッキオの物語。著者によるイラストも多数収録。

東京・中日新聞 2022/10/16

2022.7./ 244p
978-4-488-01114-7
¥2,310〔税込〕



歴史と向き合う〜日韓問題〜対立から対話へ〜

朴 裕河 著
毎日新聞出版

なぜ日本の謝罪は、韓国に届かないのか。慰安婦問題と元徴用工問題を取り上げ、日韓の対立の原因や背景を分析し、関係改善を提言する。『毎日新聞デジタル』連載を補足・修正。

東京・中日新聞 2022/10/16

2022.7./ 317p
978-4-620-32745-7
¥2,090〔税込〕



プリンシパル

長浦 京 著
新潮社

1945年、東京。大物極道の娘・綾女は兄たちが戦地から帰還するまでの「代行」役となる。綾女が辿る、鮮血に彩られた闘争の遍歴は、やがて戦後日本の闇をも呑み込み…。『小説新潮』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2022/10/23

2022.7./ 539p
978-4-10-354711-2
¥2,310〔税込〕





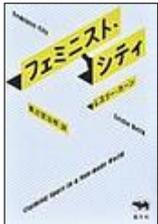
住宅開発秘史～昭和の東京郊外～(光文社新書 1216)

三浦展 著
光文社

戦後、住宅難から発生した土地開発バブルによる悲喜こもごものドラマを経て郊外は発展していった。当時の不動産チラシ 140 枚をもとに首都圏各所の「夢の跡地」を訪ね、家と町の歴史を考証する新しい住宅史。

東京・中日新聞 2022/10/23

2022:8./ 357p
978-4-334-04623-1
¥1,056 [税込]



フェミニスト・シティ

レスリー・カーン 著
晶文社

なぜ、ベビーカーは電車に載せづらいのか？ 男性基準で計画された都市で、女性たちはどう生き延びてきたか？ フェミニズム地理学の視点から、現代都市のかかえるさまざまな課題とその解決の方向性を考える。

東京・中日新聞 2022/10/23

2022:9./ 279p
978-4-7949-7329-0
¥2,200 [税込]



デモクラシーの現在地～アメリカの断層から～

青山直篤 著
みすず書房

トランプ・バイデン政権期の激動の 4 年を現地を追った新聞記者が、19 世紀フランスの思想家トクヴィルの観察記を手がかりに超大国の素顔に迫る。さらに、「存在の根幹にアメリカが深く関わる国」日本の針路をも問う。

東京・中日新聞 2022/10/30

2022:10./ 296p,8p
978-4-622-09545-3
¥2,970 [税込]



唱歌「蛍の光」と帝国日本(歴史文化ライブラリー 558)

大日方 純夫 著
吉川弘文館

「蛍の光」には現存しない 3 番・4 番があった。「帝国」版図の拡大と幻の歌詞を読み解き、その成立と変遷課程を「国民国家」日本の歴史の中に位置づける。そして、日本と東アジアの植民地支配に与えた影響を解き明かす。

東京・中日新聞 2022/10/30

2022:10./ 7p,257p
978-4-642-05958-9
¥1,980 [税込]



早稲田古本劇場

向井透史 著
本の雑誌社

今日も、百円の本を売って、日々の糧に変えていく。早稲田の古本屋「古書現世」2 代目店主が、2010 年 8 月から 2021 年 12 月までの日々を綴った記録。『WILL』『Hanada』連載に加筆修正して単行本化。

東京・中日新聞 2022/10/30

2022:9./ 377p
978-4-86011-472-5
¥2,200 [税込]





私は幽霊を見ない(角川文庫 ふ 34-2)

藤野 可織 著
KADOKAWA

心霊体験をしたいがために、廃墟訪問までしたが、ニアミスまでは体験できたものの、幽霊には会えていない…。"日常のずれ"を描いたエッセイ。書き下ろし「私は今も幽霊を見ない」を加えて文庫化。

読売新聞 2022/10/02

2022:7./ 237p
978-4-04-112441-3
¥880〔税込〕



いまは、空しか見えない(新潮文庫 し-91-1)

白尾 悠 著
新潮社

抑圧する父親に反発し、逃避行した智佳は、長距離バスで同じ高校のお馬鹿なギャル・優亜と乗り合わせてしまう。それまで話したこともなかった優亜のつらい過去を聞かされた智佳は…。連作短編集。

読売新聞 2022/10/02

2022:8./ 296p
978-4-10-104141-4
¥649〔税込〕



浅草ルンタッタ

劇団ひとり 著
幻冬舎

行き場をなくした女たちが集う浅草の置屋の前に、赤ん坊が捨てられていた。お雪と名付けられた赤ん坊は、明治から大正へ、浅草の賑わいとともに成長した。楽しみは芝居小屋に通うこと。圧倒的祝祭に満ちた物語。

読売新聞 2022/10/02

2022:8./ 238p
978-4-344-03994-0
¥1,650〔税込〕



陰日向に咲く(幻冬舎文庫)

劇団ひとり 著
幻冬舎

ホームレスを夢見る会社員。売れないアイドルを一途に応援する青年など、陽のあたらない場所を歩く人々の人生をユーモア溢れる筆致で描き、高い評価を獲得した感動の小説デビュー作。

読売新聞 2022/10/02

2008:8./ 221p
978-4-344-41168-5
¥544〔税込〕



青天の霹靂(幻冬舎文庫 け-3-2)

劇団ひとり 著
幻冬舎

一流のマジシャンを目指したはずが、場末のマジックバーから抜け出すことができない35歳の晴夫。ある日テレビ番組のオーディションに挑み、審査員の反応に希望を抱くが、その帰り道、警察から思いもかけない電話を受けて…。

読売新聞 2022/10/02

2013:8./ 243p
978-4-344-42062-5
¥544〔税込〕





音楽のある部屋〜ディレタントの流儀〜

伊藤 光昌 著
春秋社

1960～80年代のドイツ・ヨーロッパ音楽界は、輝かしい黄金時代を迎えていた。滞独生活25年の著者が、社会人・企業人として歩んできた道と、ドイツでの音楽鑑賞記を綴る。ヴァイオリニスト・矢部達哉との対談も収録。

読売新聞 2022/10/02

2022:8./ 300p,16p
978-4-393-93524-8
¥2,420〔税込〕



GE 帝国盛衰史〜「最強企業」だった組織はどこで間違えたのか〜

トーマス・グリタ/テッド マン 著
ダイヤモンド社

世界最大の総合電機メーカー、ゼネラル・エレクトリック(GE)は、なぜ、どのように凋落したのか。最強リーダーシップを誇った企業の成功と転落から、組織の隆盛と崩壊の全てを描く。

読売新聞 2022/10/02

2022:7./ 494p
978-4-478-11524-4
¥2,200〔税込〕



子どもに学ぶ言葉の認知科学(ちくま新書 1667)

広瀬 友紀 著
筑摩書房

「これ食べたら死ぬ?」「のび太 vs. のび太」…。子どものヘンテコな答えや言葉遣いの背後にある、子どもや人間一般の心の働き、認知のしくみ、言葉の性質について楽しく学べる書。『web ちくま』連載を大幅に加筆修正。

読売新聞 2022/10/02

2022:7./ 234p
978-4-480-07493-5
¥946〔税込〕



日本鬼文学名作選(創元推理文庫 F ん 3-9)

東 雅夫 編
東京創元社

人に似て人にあらざる妖物の真の魅力余すところなく紹介する鬼文学入門の書。「桃太郎」「酒呑童子」「視鬼」をはじめ、加門七海と霧島ケイによる対談や、「平家物語 剣巻」の現代語訳+原文などを収録する。

読売新聞 2022/10/02

2022:8./ 375p
978-4-488-56412-4
¥1,100〔税込〕



あした出会えるきのこ 100(散歩道の図鑑)

新井 文彦、保坂 健太郎 著
山と溪谷社

庭や道端、公園、里山で出会える身近なきのこ100種を厳選紹介。形態や生育環境といった基本情報だけでなく、キャッチフレーズ、食毒、観察にまつわるエピソード、名前の由来なども掲載する。

読売新聞 2022/10/02

2022:6./ 191p
978-4-635-06299-2
¥1,760〔税込〕





絶版本

古田 徹也／伊藤 亜紗／藤原 辰史／佐藤 卓己／荒井 裕樹／小川 さやか／隠岐 さや香／原 武史／西田 亮介／稲葉 振一郎／荒木 優太／辻田 真佐憲／畑中 章宏／工藤 郁子／榎木 英介／山本 貴光／吉川 浩満／読書猿／岸本 佐知子／森田 真生／ドミニク チェン／赤坂 憲雄／斎藤 美奈子／鷺田 清一 著

柏書房

あなたが、いまこそ語りたい「絶版本」はなんですか？ 人生に影響を与えた一冊は？ 語りたくても語る場がなかった「あの一冊」について、伊藤亜紗、稲葉振一郎、鷺田清一ら 24 人が思う存分語る。

読売新聞 2022/10/02

2022:9./ 221p
978-4-7601-5480-7

¥1,760〔税込〕



東南アジアにおける汚職取締の政治学(シリーズ転換期の国際政治 16)

外山 文子／小山田 英治／三重野 文晴／山口 健介／川村 晃一／木場 紗綾／山田 裕史／Nguyen Thanh Huyen／瀬戸 裕之 著

晃洋書房

世界的に高まる反汚職の機運。特に取締に熱心なのは権威主義国である。その背後には何があるのか。国際開発学、経済学、比較政治学など多角的な分析を通して、東南アジアの汚職取締をめぐる政治を描き出す。

読売新聞 2022/10/02

2022:7./ 8p,356p
978-4-7710-3649-9

¥5,280〔税込〕



新編激動の中を行く～与謝野晶子女性論集～ 新版

もろさわ ようこ 編

与謝野 晶子 著

新泉社

「すべて眠りし女今ぞ目覚めて動くなる」 日本のフェミニズムを拓いた誇り高いことば。おもに「女性論」のテーマに関連する与謝野晶子の評論を収録。ほか詩「そぞろごと」、女性史研究家もろさわようこの解説等を掲載。

読売新聞 2022/10/02

2021:3./ 294p
978-4-7877-2100-6

¥2,530〔税込〕



ああ、鈍行鉄道人生～昭和・平成の鉄道員泣き笑い記～

吉野孝治 著

アルファベータブックス

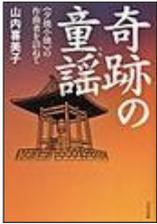
駅務係から始まり、車掌、人事課、総務課、助役、そして駅長-。昭和中期に旧国鉄の駅員として入社し、現 JR 東日本に平成中期まで身を置いた著者が、その勤務経験や失敗談を綴る。写真も多数掲載。

読売新聞 2022/10/02

2022:8./ 239p
978-4-86598-101-8

¥2,420〔税込〕





奇跡の童謡～《夕焼小焼》の作曲者を訪ねて～

山内 喜美子 著
大空出版

松代藩士の家に生まれた両親のもと、4人兄弟の末っ子として育った草川信は、東京音楽学校に入学するまで、長野でどんな教育を受けたのか。なぜ童謡だけが没後生き残ったのか。「夕焼小焼」の作曲者、草川信の生涯をたどる。

読売新聞 2022/10/02

2022:7./ 310p
978-4-86748-004-5

¥1,980〔税込〕



世界は五反田から始まった(ゲンロン叢書 011)

星野博美 著
ゲンロン

祖父が残した手記。そこに綴られていたのは、家族が生きてきた土地・五反田の記録だった。大宅壮一ノンフィクション賞作家が、五反田を襲った「もうひとつの東京大空襲」について記す。『ゲンロンβ』連載を加筆修正。

読売新聞 2022/10/02

2022:7./ 364p
978-4-907188-45-0

¥1,980〔税込〕



ダダ・カンスケという詩人がいた～評伝陀田勘助～

吉田 美和子 著
共和国/editorial republica

ダダを名乗った唯一の詩人としてデビューした陀田勘助(ダダ・カンスケ)。だが筆名と詩を捨てて共産主義者に転向。非合法共産党の地下活動にかかわって投獄され、29歳で獄死した。その謎の多い生涯に肉薄する。

読売新聞 2022/10/02

2022:6./ 373p
978-4-907986-59-9

¥4,070〔税込〕



衡平な大学入試を求めて～カリフォルニア大学とアファーマティブ・アクション～

ジョン・A. ダグラス 著
九州大学出版会

カリフォルニア大学(UC)の入試改革の果てしなき歩みとは。大衆に開かれた、卓越した高等教育システムをいかに実現するか。公立大学であるがゆえに課される社会的使命に立ち向かったUCの挑戦を描く。

読売新聞 2022/10/02、朝日新聞 2022/10/15

2022:8./ 9p,439p
978-4-7985-0335-6

¥3,300〔税込〕



アメリカとは何か～自画像と世界観をめぐる相剋～(岩波新書 新赤版 1938)

渡辺 靖 著
岩波書店

ポピュリズムやナショナリズムの台頭、権威主義国家による挑戦などを前に、米国のアイデンティティが揺らいでいる。米国内の分断状況を精緻に観察し、米国の民主主義、そしてリベラル国際秩序の行方を展望する。

読売新聞 2022/10/02、日本経済新聞 2022/10/08

2022:8./ 18p,206p,5p
978-4-00-431938-2

¥946〔税込〕





羊皮紙の世界～薄皮が秘める分厚い歴史と物語～

八木 健治 著
岩波書店

動物の皮を薄い紙にしていく工程から、中世の写字職人が駆使したテクニックの数々、西欧以外の文化圏での活用法まで、羊皮紙にまつわる基礎知識を、豊富なカラー図版とともに解説。役立つコラムも満載。羊皮紙の実物見本付き。

読売新聞 2022/10/09

2022:8./ 122p
978-4-00-025475-5

¥3,190〔税込〕



亜鉛の少年たち～アフガン帰還兵の証言～ 増補版

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著
岩波書店

「国際友好の義務を果たす」という政府の方針でアフガニスタンへ送り出されたソ連の若者たちは、亜鉛の棺に納められて帰国し、生きて戻った者も鉛のような心を抱えて苦しんでいた…。帰還兵、戦没者の家族らの肉声を綴る。

読売新聞 2022/10/09

2022:6./ 7p,434p
978-4-00-061303-3

¥3,520〔税込〕



王のいる共和政～ジャコバン再考～

中澤 達哉 著
岩波書店

18-19世紀の市民革命期に欧米諸国で議論された「共和政」は、いつ、どのような経緯で「王のいない」ものになっていったのか。革命・自由などの原義や当時の文脈を読み解き、「近代」を根底から問い直す。関連年表つき。

読売新聞 2022/10/09

2022:6./ 17p,203p
978-4-00-061544-0

¥3,520〔税込〕



江戸漢詩の情景～風雅と日常～(岩波新書 新赤版 1940)

揖斐 高 著
岩波書店

江戸の人びとにとって、漢詩文は、日々の暮らしのさまざまな想い、人生の悲喜こもごもを記すための身近な表現手段だった。具体的な作品を読み解きながら人びとの感情・思考を掘り上げ、江戸文学の奥深い魅力へと迫る詩話集。

読売新聞 2022/10/09

2022:8./ 2p,253p
978-4-00-431940-5

¥990〔税込〕



戦争は女の顔をしていない(岩波現代文庫 社会 295)

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著
岩波書店

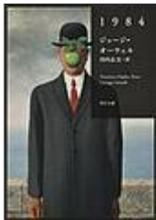
ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。五百人以上の従軍女性から聞き取りをおこなった戦争の真実を明らかにした、ノーベル文学賞作家の名著。

読売新聞 2022/10/09

2016:2./ 6p,498p
978-4-00-603295-1

¥1,540〔税込〕





1984(角川文庫 オ 1-3)

ジョージ・オーウェル 著

KADOKAWA

言語も思想も管理された近未来世界。過去の捏造に従事するウィンストンは、記憶と真実を留めるため、密かに日記を書き始める。伝説の反逆組織の男に声をかけられた彼は、禁断の本を入手し…。ディストピア小説の傑作。

読売新聞 2022/10/09

2021:3./ 494p
978-4-04-109245-3

¥924〔税込〕



埴輪〜古代の証言者たち〜(角川ソフィア文庫 I166-1)

若狭 徹 著

KADOKAWA

巫女、武人、力士、ムササビ…。博物館で人気を集める多彩な造形の埴輪たち。定番の名品を含め、3世紀中頃～6世紀終わり頃に造られた埴輪をカラー写真をふんだんに用いて紹介。造形美、細部の見方、楽しみ方を解説する。

読売新聞 2022/10/09

2022:9./ 241p
978-4-04-400649-5

¥1,364〔税込〕



方舟

夕木 春央 著

講談社

地震によって山奥の地下建築に閉じ込められた柵一たち。水が流入しはじめ、地下建築の水没までおよそ1週間。地下建築から脱出するためには、9人のうち誰か1人を犠牲にしなければならない。そんななか、殺人事件が起こり…。

読売新聞 2022/10/09

2022:9./ 301p
978-4-06-529268-6

¥1,760〔税込〕



終わらざる夏<上>(集英社文庫 あ 36-18)

浅田 次郎 著

集英社

1945年、夏。片岡は45歳の兵役年限直前に赤紙を受け取る。何も分からぬまま、医師の菊池、歴戦の軍曹・鬼熊とともに北の地へ向かった。終戦直後の知られざる戦いを舞台に戦争の理不尽を描く歴史的大作。

読売新聞 2022/10/09

2013:6./ 354p
978-4-08-745078-1

¥814〔税込〕



終わらざる夏<中>(集英社文庫 あ 36-19)

浅田 次郎 著

集英社

片岡の一人息子・譲は、信州の集団疎開先で父親の召集を知り、東京を目指して歩き始めた。一方、片岡ら補充要員は、千島列島最東端の占守島へと向かう。そこに残されていたのは、無傷の帝国陸軍、最精鋭部隊だった…。

読売新聞 2022/10/09

2013:6./ 326p
978-4-08-745079-8

¥770〔税込〕





終わらざる夏<下>(集英社文庫 あ 36-20)

浅田 次郎 著
集英社

1945年8月15日、玉音放送。占守島では通訳要員である片岡らが、終戦交渉にやって来るであろう米軍の軍使を待ち受けていた。だが、島に残された日本軍が目にしたのは、中立条約を破棄して上陸してくるソ連軍の姿だった。

読売新聞 2022/10/09

2013:6./ 374p
978-4-08-745080-4

¥858〔税込〕



写字室の旅/闇の中の男(新潮文庫 オ-9-17)

ポール・オースター 著
新潮社

奇妙な部屋にいる奇妙な老人。彼は何者で、何をしているのか。オースター作品に登場した人物が次々と現れる「写字室の旅」と、年間ベスト・ブックと絶賛された「闇の中の男」。傑作中編2作を合本して生まれた、新たな物語。

読売新聞 2022/10/09

2022:9./ 438p
978-4-10-245118-2

¥880〔税込〕



ペンギンの憂鬱(Crest books)

アンドレイ・クルコフ 著
新潮社

憂鬱症のペンギン・ミーシャと暮らす売れない小説家ヴィクトル。新聞の死亡記事を書く仕事をきっかけに次々起きる不可解な変死。不条理な世界を描く新ロシア文学。

読売新聞 2022/10/09

2004:9./ 315p
978-4-10-590041-0

¥2,200〔税込〕



通訳ダニエル・シュタイン<下>(CREST BOOKS)

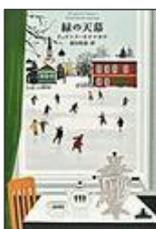
リュドミラ・ウリツカヤ 著
新潮社

宗派を超えて人々を受け入れる教会をつくったダニエル。だが、様々な妨害を受け、ローマ教皇庁からも問題視されてしまい…。生涯をかけて人の心をつなぎ続けた実在のユダヤ人をモデルに描く長篇小説。

読売新聞 2022/10/09

2009:9./ 381p
978-4-10-590078-6

¥2,420〔税込〕



緑の天幕(CREST BOOKS)

リュドミラ・ウリツカヤ 著
新潮社

1953年のスターリンの死から1991年のソ連崩壊へ。人びとはそれぞれに夢を抱き、愛を求めては失いながら、抑圧的な社会の中で人間らしく生きようとし…。ロシアを代表する女性作家による大河長篇。

読売新聞 2022/10/09

2021:12./ 718p
978-4-10-590177-6

¥4,180〔税込〕





統合失調症の一族～遺伝か、環境か～

ロバート・コルカー 著
早川書房

1970年代半ば、12人の子供のうち6人が統合失調症と診断されたギャルヴィン一家。遺伝的側面から原因を究明する研究者らにより、衝撃の真相が明らかになる…。精神医療史の画期をなした一家の記録。

読売新聞 2022/10/09

2022:9./ 502p
978-4-15-210168-6
¥3,740〔税込〕



サバカン SABAKAN

金沢 知樹 著
文藝春秋

1986年の長崎。小学生の僕はタケちゃんといルカを見るためにブーメラン島を目指すことに。この冒険をきっかけにふたりの友情が深まる中、別れは突然にやってきて…。2022年8月公開の同名映画の原作小説。

読売新聞 2022/10/09

2022:8./ 222p
978-4-16-391582-1
¥1,320〔税込〕



テヘランでロリータを読む(河出文庫 ナ3-1)

アーザル・ナフィーシー 著
河出書房新社

テヘランの大学で英文学を講じていた著者は、抑圧的な大学当局に嫌気がさして辞職し、優秀な女子学生7人とともに、ひそかに西洋文学を読む研究会をはじめた…。激動のイランで暮らした経験を綴った文学的回想録。

読売新聞 2022/10/09

2021:11./ 585p
978-4-309-46743-6
¥1,672〔税込〕



レッドクローバー

まさき としか 著
幻冬舎

東京のバーベキュー場で起こったヒ素による大量殺傷事件。記者の勝木は、12年前の灰戸町一家殺害事件の、ただ一人の生存者、赤井三葉を思いだす。あの日、薄汚れたゴミ屋敷で一体何があったのか。そして少女は今-

読売新聞 2022/10/09

2022:8./ 429p
978-4-344-03996-4
¥1,980〔税込〕



近代日本の競馬～大衆娯楽への道～(叢書パルマコン・ミクロス 02)

杉本 竜 著
創元社

戦前唯一の「公認賭博」であり、かつ知的推理を伴う大衆娯楽だった競馬。陸軍・興行主・宮内省など諸勢力の攻防や、賭けを楽しむ庶民の姿を、様々な史料を駆使して細部までリアルに描き、歴史的に様々な相貌を明らかにする。

読売新聞 2022/10/09

2022:6./ 341p
978-4-422-70126-4
¥2,750〔税込〕





イリノイ遠景近景(ちくま文庫 ふ 54-2)

藤本 和子 著

筑摩書房

広大なトウモロコシ畑をトイレにしている飼い犬の話。ドーナツ屋にたむろしている野球帽のじいちゃんたちの会話の盗み聞き…。LAでもNYでもない、普段着のアメリカがつまったエッセイ集。

読売新聞 2022/10/09

2022.9./ 364p
978-4-480-43842-3

¥990〔税込〕



お住の霊〜岡本綺堂怪異小品集〜(平凡社ライブラリー 932)

東 雅夫 編

岡本 綺堂 著

平凡社

「半七捕物帳」の第1作「お文の魂」の原型となった表題作や、怪奇小説の代表作「青蛙堂鬼談」の原型と目される幻の連作「五人の話」の史上初の復刻を含め、岡本綺堂の傑作23編を収録する。文豪怪異小品シリーズ第11弾。

読売新聞 2022/10/09

2022.7./ 450p
978-4-582-76932-6

¥1,980〔税込〕



愛を見つめて〜高め合い、乗り越える〜(インターナショナル新書 110)

ハビエル・ガラルダ 著

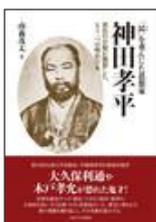
集英社インターナショナル

さまざまな困難に直面し、他人とのコミュニケーションに悩む現代人は、恋人や家族、友人とどのように向き合い愛を育めばいいのだろうか？ 滞日60年を超えるスペイン人神父が、神学者・哲学者の観点から愛の形を考察する。

読売新聞 2022/10/09

2022.10./ 195p
978-4-7976-8110-9

¥902〔税込〕



「民」を重んじた思想家 神田孝平〜異色の官僚が構想した、もう一つの明治日本〜

南森 茂太 著

九州大学出版会

忘れられた明治の偉人が、いま蘇る！ 民衆を統治すべき「愚民」ではなく、政治・経済の主体的な担い手と位置づけた思想家・神田孝平。歴史に埋もれた彼の業績を掘り起こし、その実像を明らかにする。

読売新聞 2022/10/09

2022.7./ 5p,288p,4p
978-4-7985-0334-9

¥5,940〔税込〕



スヌーピーと生きる〜チャールズ・M・シュルツ伝〜 新装版

リタ・グリムズリー・ジョンソン 著

朝日新聞出版

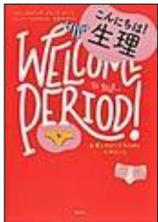
現在も75カ国、21の言語で連載が続いている漫画「ピーナッツ」。スヌーピーたちの生みの親シュルツは亡くなる直前までアシスタントもつけずに連載を書き続けた。その生涯とキャラクターたちが誕生した過程に迫る。

読売新聞 2022/10/16

2022.10./ 448p
978-4-02-251862-0

¥2,750〔税込〕





こんにちは!生理～生理と仲よくなるために大切なこと～(10代のためのエン
パワメント BOOK シリーズ 2)

ユミ・スタインズ/メリッサ・カン 著
集英社

生理が始まる10代に向けて、生理の基本、ナプキンとタンポンの違い・使い方、思春期にからだに起こることなどを解説。どんなときも自分のからだの主人公になって生理を乗り切れるように、役立つ情報を紹介します。

読売新聞 2022/10/16

2022:7./ 159p
978-4-08-333171-8
¥1,980〔税込〕



明智小五郎事件簿<戦後編 4> 「影男」「赤いカブトムシ」(集英社文庫 え
14-16)

江戸川 乱歩 著
集英社

自らの犯罪体験を小説として書く正体不明の男。完全犯罪のアイデア出しを依頼され、その案通りに残酷な殺人が行われ…。「影男」など全2編を収録。名探偵・明智小五郎が戦後に関わった事件を発生順に並べたコレクション。

読売新聞 2022/10/16

2022:7./ 365p
978-4-08-744418-6
¥748〔税込〕



大久保利通～「知」を結ぶ指導者～(新潮選書)

瀧井 一博 著
新潮社

富国強兵と殖産興業に突き進んだ強権的な指導者像の裏で、人の才を見出して繋ぎ、地方からの国づくりを目指した大久保利通。膨大な史資料を読み解き、「知の政治家」としての新たなイメージを浮かび上がらせる。

読売新聞 2022/10/16

2022:7./ 521p,5p
978-4-10-603885-3
¥2,420〔税込〕



落語刑事サダキチ～神楽坂の赤犬～(中公文庫 あ 79-8)

愛川 晶 著
中央公論新社

噺家に弟子入り志願した過去を持つ神楽坂署のベテラン刑事、平林定吉は、落語界の隠れた名探偵・八代目林家正蔵、新人刑事・三崎優子とともに、街の事件を解決し…。昭和50年代の東京を舞台にした、落語愛あふれる警察小説。

読売新聞 2022/10/16

2022:8./ 313p
978-4-12-207240-4
¥968〔税込〕



旧約聖書がわかる本～<対話>でひもとくその世界～(河出新書 055)

並木 浩一/奥泉 光 著
河出書房新社

旧約聖書とはどんな書物なのか? 旧約聖書のテキストを引用しながら、小説のように自由で、思想書のように挑発的なその本質をつかみ出す、旧約聖書研究のプロとその下で学んだ異才の小説家の<対話>による入門書。

読売新聞 2022/10/16

2022:9./ 434p
978-4-309-63156-1
¥1,397〔税込〕





覇権国の交代～戦争と変動の国際政治学～

ロバート・ギルピン 著

勁草書房

歴史上、覇権を握った国は必ず没落し、新興国がその座を奪ってきた。そのサイクルはなぜ生じるのか？ 大国興亡のパターンを圧倒的なスケールで抽出し、覇権国交代のメカニズムを読み解いた古典を完訳。

読売新聞 2022/10/16

2022:8./ 10p,274p
978-4-326-30316-8

¥4,400〔税込〕



萩尾望都がいる(光文社新書 1212)

長山 靖生 著

光文社

「ポーの一族」「トーマの心臓」「11人いる!」「イグアナの娘」...。SF、ジェンダー、多様性、親子関係などをテーマにした、常に時代の先を行く萩尾望都の表現に我々は何を学んだのか。その魅力と軌跡を辿る。

読売新聞 2022/10/16

2022:7./ 322p
978-4-334-04620-0

¥1,078〔税込〕



カラマーゾフの兄弟<1>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著

光文社

世界の深みにずっと入り込める翻訳をめざして.....。流れ、勢いこそ『カラマーゾフ』の神髄だ。自分の課題として受けとめた今回の亀山郁夫訳は、作者の壮絶な「二枚舌」を抽出する。

読売新聞 2022/10/16

2006:9./ 443p
978-4-334-75106-7

¥796〔税込〕



終止符のない人生

反田 恭平 著

幻冬舎

日本人として51年ぶりのショパン国際ピアノコンクール2位の快挙、自身のレーベル設立、日本初“株式会社”オーケストラの結成、クラシック界のDX化...。世界が目する音楽家・反田恭平が、これまでの軌跡と未来を語る。

読売新聞 2022/10/16

2022:7./ 212p
978-4-344-03974-2

¥1,760〔税込〕



石が書く

ロジェ・カイヨワ 著

創元社

聖なるもの、遊び、神話、詩学、夢といったテーマを縦横に論じてきた「知の巨人」カイヨワが、自らの石コレクションをもとに、<石の美は、普遍的な美の存在を示している>と論じた名著を新訳。石のカラー図版も多数収録。

読売新聞 2022/10/16

2022:8./ 134p
978-4-422-44036-1

¥4,620〔税込〕





ふしぎなお金(ちくま文庫 あ 10-22)

赤瀬川 原平 著
筑摩書房

財布は拳銃や刀に似ている。護身用であり、権威にもなるからだ。人は金のために人を殺したり、自分の首を吊ったりして、隠然たる凶器の光を忍ばせている。お金の本質について、自らの絵と文でレクチャーする。

読売新聞 2022/10/16

2022:5./ 126p
978-4-480-43793-8
¥748〔税込〕



夜ふけの酒評～愛と独断の日本酒厳選 50～

山内聖子 著
イースト・プレス

小さな羽が生えて上半身が5ミリ浮くAKABU、記憶に残り続ける限りなく透明な味の東北泉…。日本酒とともに生きてきた著者が、ふだんの暮らしのなかで心にとめた銘柄50本の“酒評”を綴る。

読売新聞 2022/10/16

2022:10./ 254p
978-4-7816-2120-3
¥1,760〔税込〕



翻訳、一期一会

鴻巣 友季子、横尾 忠則、多和田 葉子、ダイヤモンド・ユカイ、斎藤 真理子、
呉 明益、温 又柔、天野 健太郎 著

左右社

「風に吹かれて」「枕草子」「風と共に去りぬ」など、名曲の歌詞や古典文学の一文を、ミュージシャン、作家、現代美術家と翻訳家・鴻巣友季子が共に翻訳。互いの訳文を見ながら語り合う。呉明益・温又柔との座談会も収録。

読売新聞 2022/10/16

2022:8./ 233p
978-4-86528-098-2
¥1,980〔税込〕



文学のミニマル・イメージ～モーリス・ブランショ論～(流動する人文学)

郷原 佳以 著
左右社

現代において文学・芸術に賭けられているものの逆説的な意味を深く、徹底して、本質的に考え抜いた文学者ブランショ。彼の1940年代後半から50年代前半までの著作を分析し、言語としての「イメージ」を追求する。

読売新聞 2022/10/16

2011:2./ 313p,56p
978-4-903500-49-2
¥4,180〔税込〕



境目の戦国時代～上杉・武田・北条のはざまを生き抜いた人びと～

大貫 茂紀 著
小さ子社

あいまいで開放的な戦国の「境目」のすがたとは。上杉・武田・北条3氏の勢力圏であった上野国(群馬県)を中心として、境目の視点から戦国社会の内部の様相を描き出し、境目の全体像を示す。テキストデータの引換券付き。

読売新聞 2022/10/16

2022:7./ 252p
978-4-909782-15-1
¥2,530〔税込〕





非暴力の力

ジュディス・バトラー 著
青土社

暴力を正当化する「自己防衛」の「自己」の意味を問い直し、人間が根本的に他者や非人間を含む環境と相互依存していることを明らかにする。戦争とレイシズムの時代における非暴力のマニフェスト。

読売新聞 2022/10/16、朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 250p,2p
978-4-7917-7486-9

¥2,640〔税込〕



森鷗外～学芸の散歩者～(岩波新書 新赤版 1937)

中島 国彦 著
岩波書店

多彩な小説を発表、軍医高官として論文執筆や公務もこなし、荷風など後進の作家にも目をかけ、子どもたちから優しいパッパと慕われる。学問と芸術の世界を自由に歩き回った等身大の森鷗外の姿を、同時代の証言とともに辿る。

読売新聞 2022/10/23

2022:7./ 3p,246p,2p
978-4-00-431937-5

¥968〔税込〕



此の世の果ての殺人

荒木 あかね 著
講談社

小惑星「テロス」が日本に衝突することが発表され世界は大混乱に陥るが、小春は、夢を叶えるため淡々と自動車の教習を受け続けている。年末、ある教習車のトランクで女性の死体を発見し、元刑事の教官と謎解きを始め...

読売新聞 2022/10/23

2022:8./ 352p
978-4-06-528920-4

¥1,815〔税込〕



地面師～他人の土地を売り飛ばす闇の詐欺集団～(講談社文庫 も 57-2)

森 功 著
講談社

近年の土地バブル再来で地面師たちの動きが活発化している。彼らは不動産の持ち主になりすまし、勝手に不動産を転売して大儲けして...。不動産のプロがコロッと騙された、複雑で巧妙すぎるその手口を紹介する。

読売新聞 2022/10/23

2022:9./ 264p
978-4-06-529256-3

¥726〔税込〕



異邦人 改版(新潮文庫 カ-2-1)

カミュ 著
新潮社

母の死の翌日海水浴に行き、女と関係を結び、映画を見て笑いころげ、人を殺害し、動機について「太陽のせい」と答える...。通常の論理的な一貫性が失われている男を主人公に、不条理の認識を極度に追求したカミュの代表作。

読売新聞 2022/10/23

2014:6./ 179p
978-4-10-211401-8

¥605〔税込〕





シーシュポスの神話 改版(新潮文庫)

カミュ 著

新潮社

読売新聞 2022/10/23

2006.9./ 257p
978-4-10-211402-5

¥693〔税込〕



財布は踊る

原田 ひ香 著

新潮社

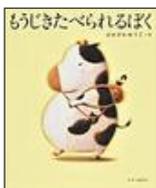
専業主婦のみづほは、夢を実現するために生活費を切り詰め、毎月2万円を貯金していた。努力が実り、夢を実現した喜びも束の間、夫に200万円以上の借金があることが発覚して…。『小説新潮』連載を単行本化。

2022.7./ 284p
978-4-10-352512-7

¥1,540〔税込〕



読売新聞 2022/10/23



もうじきたべられるぼく

はせがわゆうじ 著

中央公論新社

「ぼくは牛だから、もうじき食べられる」自分の運命を受け入れた牛は、最後に一目だけ、お母さん牛に会いたくて生まれ育った牧場に行くことにして…。TikTokの読み聞かせ動画を書籍化。食育にも最適な絵本。

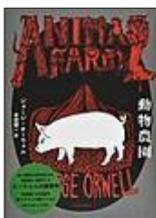
2022.8./ 1冊(ページ
付なし)

978-4-12-005559-1

¥1,540〔税込〕



読売新聞 2022/10/23



動物農園

ジョージ・オーウェル 著

中央公論新社

酔っぱらいの農園の主人を追い出し理想の国を築いた動物たち。しかし、一部の豚が君臨し始め…。非人間的な政治圧力を寓話的に批判した、オーウェルの衝撃作「動物農園」。吉田健一の名訳に描き下ろしの絵を付す。

2022.9./ 155p
978-4-12-005566-9

¥2,200〔税込〕



読売新聞 2022/10/23



ウクライナ戦記～不肖・宮嶋最後の戦場～

宮嶋 茂樹 著

文藝春秋

2022年3月12日にキーウ入りして以来、4月17日まで各地で取材。そして5月、ふたたびウクライナへ。戦火の下で見た「戦場の真実」を伝える。遺体写真あり。『文春オンライン』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2022.8./ 222p 図版

16枚

978-4-16-391590-6

¥1,980〔税込〕



読売新聞 2022/10/23



われ去りしとも美は朽ちず

玉岡かおる 著

潮出版社

世界の美術業界に革命をもたらした美術陶板。技術を発見、トライ&エラーを繰り返し、芸術作品として昇華、展示することで、世界に類を見ない規模の美術館として知られている国際美術館の設立に尽力した人々の姿を描く。

読売新聞 2022/10/23

2022.9./ 284p
978-4-267-02365-1

¥1,980〔税込〕



思い込む力～やっと「好きなこと」を仕事にできた～

ネモ（根本直樹） 著

日経BP社

会社員を続けながらもトッププロへの道を開いたプロゲーマー・ネモが語る、「好きなことをあきらめなかった」仕事論。自身の体験を通して、好きなこと、やりたいことを仕事にする方法はいろいろあることを伝える。

読売新聞 2022/10/23

2022.9./ 209p
978-4-296-20024-5

¥1,650〔税込〕



地形と地理でわかる京都の謎～カラー版～(宝島社新書 650)

青木 康、古川 順弘 著

宝島社

なぜ、天皇の住まいは鴨川のそばに建てられたのか。なぜ、徳川家康は京都に政権を置かなかったのか。なぜ、京都人は「よそもん」を嫌うのか。京都の謎全50項目を、オールカラーの地図と地形図で解明する。

読売新聞 2022/10/23

2022.8./ 223p
978-4-299-03301-7

¥1,320〔税込〕



終着駅へ行ってきました 新装版(河出文庫 み4-7)

宮脇 俊三 著

河出書房新社

北は根室本線の根室から、南は指宿枕崎線の枕崎まで、26の終着駅を訪れる“行き止まり”鉄道紀行。国鉄民営化直前の鉄道風景を、忘れ去られし昭和を写し出す。

読売新聞 2022/10/23

2022.9./ 251p
978-4-309-41916-9

¥990〔税込〕



いまこそ、希望を(光文社古典新訳文庫 KBサ1-1)

サルトル、レヴィ 著

光文社

1980年に行われたサルトルとレヴィの対談。レヴィは鋭い批判でサルトル最晩年の思想に立ち向かい、サルトルは生涯にわたる文学、哲学、政治行動などをふりかえりつつ、率直に、あたたかく、誠実に、自らの全軌跡を語る。

読売新聞 2022/10/23

2019.2./ 207p
978-4-334-75395-5

¥946〔税込〕





ペスト(光文社古典新訳文庫 KA カ 4-1)

カミュ 著
光文社

突如発生した死の伝染病ペスト。病床や埋葬地は不足、市境は封鎖され、人々は恋人や家族と離れた生活を強いられる。一方、リュウ医師らは保健隊を結成し、事態の收拾に奔走するが…。読みやすい新訳で贈るカミュの代表作。

読売新聞 2022/10/23

2021:9./ 493p
978-4-334-75449-5

¥1,166〔税込〕



嘔吐〜新訳〜

ジャン・ポール・サルトル、鈴木 道彦 著
人文書院

港町ブーヴィル。孤独な一知識人口カンタンを突然襲う吐き気の意味とは…。1冊の日記に綴られた孤独な男のモノローグを通して、人間存在の不条理を描いたサルトルの代表作を全面新訳。

読売新聞 2022/10/23

2010:7./ 338p
978-4-409-13031-5

¥2,090〔税込〕



ユーモアは最強の武器である〜スタンフォード大学ビジネススクール人気講義〜

ジェニファー・アーカー／ナオミ・バグドナス 著
東洋経済新報社

ビジネスや人生のあらゆる場面で「ユーモア」は最強の武器となる! 陽気なコミュニケーションの取り方や、困難な局面を乗り切る方法、陽気さを戦略的に用いて、生産性を向上させる方法などを紹介する。

読売新聞 2022/10/23

2022:9./ 9p,370p,17p
978-4-492-53459-5

¥1,980〔税込〕



鳥脳力〜小さな頭に秘められた驚異の能力〜(DOJIN 文庫 010)

渡辺 茂 著
化学同人

道具をつくり、ピカソとモネの絵を見分け、パッハとシェーンベルクを聴き分ける。そんな鳥脳に標準装備の能力と、訓練によって獲得できる能力とは何か。さまざまなオモシロ実験で、その知的能力を明らかにする。

読売新聞 2022/10/23

2022:8./ 286p
978-4-7598-2510-7

¥1,100〔税込〕



豪商の金融史〜廣岡家文書から解き明かす金融イノベーション〜

高槻 泰郎 著
慶應義塾大学出版会

世界の先物市場の先駆けともいわれる堂島米市場、大名貸、銀行業、保険業と、日本の金融史に深く関わっている大坂の豪商、廣岡家。廣岡家にまつわる史料を読み解き、日本の金融市場の歴史を辿る。

読売新聞 2022/10/23

2022:7./ 317p,3p
978-4-7664-2833-9

¥2,970〔税込〕





「一万円選書」でつながる架け橋～北海道の小さな町の本屋・いわた書店～

岩田 徹 著
竹書房

詳細なカルテを基にお客さん一人ひとりにあった本を選書するサービス「一万円選書」。起死回生の「一万円選書」を中心に、北国の小さな本屋の二代目店主が、生き残りのためのさまざまな工夫やアイデアなどを語る。

読売新聞 2022/10/23

2022:2./ 175p
978-4-8019-3003-2

¥1,760〔税込〕



揺れる大地を賢く生きる～京大地球科学教授の最終講義～(角川新書 K-401)

鎌田 浩毅 著
KADOKAWA

東日本大震災以降、日本列島は火山噴火や大地震がいつ起きてもおかしくない未曾有の変動期に入った。この大地で生き延びるために、心得ておくことはなにか。京都大学で学生たちに人気を博した教授による白熱の最終講義。

読売新聞 2022/10/30

2022:10./ 287p
978-4-04-082421-5

¥1,034〔税込〕



てらこや青義堂～師匠、走る～(小学館文庫 小学館時代小説文庫 Jい3-1)

今村 翔吾 著
小学館

將軍暗殺を企てる忍びの団が動き出した。かつて凄腕の公儀隠密だった寺子屋の師匠・十蔵は、危険が及ばぬよう離縁した妻の身を案じて、妻の里へ。筆子たちは、十蔵の記した忍びの教本をたよりに、師匠を救う冒険に旅立つ。

読売新聞 2022/10/30

2022:9./ 413p
978-4-09-407182-5

¥902〔税込〕



水平線

滝口 悠生 著
新潮社

祖父母の故郷・硫黄島を墓参で訪れたことがある妹に、見知らぬ男から電話がかかってきた頃、兄は不思議なメールに導かれ船に乗った…。枝分かれする時間、交差する人生を映し出す長篇小説。『新潮』連載を単行本化。

読売新聞 2022/10/30

2022:7./ 503p
978-4-10-335314-0

¥2,750〔税込〕



講釈場のある風景～作品集～(中公文庫 ち8-13)

中央公論新社 編
中央公論新社

漱石・荷風らが愛した高座の空気。寂聴が小説に描いた古老の語り口…。講談専門の寄席「講釈場」や講談師たちを描いた明治～昭和期の作品を集成したオリジナルアンソロジー。神田伯山と長井好弘の対談も収録。

読売新聞 2022/10/30

2022:10./ 313p
978-4-12-207274-9

¥990〔税込〕





ショパン〜プリンス・オブ・ザ・ロマンティックス〜

アダム・ザモイスキ 著
音楽之友社

ジョルジュ・サンドとの愛憎の生活、リストなどとの密度の濃い交流とショパンの立ち位置…。一次資料を駆使してなされる「非神話化」の手法で、ショパンを社会、政治、貴族を中心とした人間関係の中でとらえ、その生涯を描く。

読売新聞 2022/10/30

2022:10./ 287p
978-4-276-21007-3

¥3,960〔税込〕



江戸へおかえりなさいませ(河出文庫 す 17-1)

杉浦 日向子 著
河出書房新社

持たず急がず手を抜かず、プライドは持つがコンプレックスは無用。粋なおとなはのんびりと、等身大の自分に出会う。江戸人の魅力を、杉浦日向子の達意の名文、語り、イラスト、漫画で紹介する。

読売新聞 2022/10/30

2022:8./ 184p
978-4-309-41914-5

¥781〔税込〕



たまさか人形堂それから(創元推理文庫 M つ 4-5)

津原 泰水 著
東京創元社

小さな人形修復店で交錯するさまざまな想い、さまざまな人生。素人店主・濤と職人たちにも転機が訪れ…。人形修復店に持ち込まれる様々な謎を描くミステリ連作集第2弾。書き下ろし短編も収録。

読売新聞 2022/10/30

2022:7./ 250p
978-4-488-46905-4

¥792〔税込〕



暴力のエスノグラフィー〜産業化された屠殺と視界の政治〜

ティモシー・パチラット 著
明石書店

1日に2500頭の牛が食肉処理される産業屠殺場に、覆面労働者として政治学者が潜入。現代社会における監視と権力、暴力の恩恵を受ける多数者の矛盾と欺瞞、そして<視界の政治>の輪郭を浮かび上がらせる。

読売新聞 2022/10/30

2022:9./ 372p
978-4-7503-5447-7

¥3,080〔税込〕



ネコはここまで考えている〜動物心理学から読み解く心の進化〜

高木 佐保 著
慶應義塾大学出版会

ネコはどこまで物理法則を理解しているのか。ネコは“声”から“顔”を思い浮かべるのか。ネコの思考能力はどのように進化したのか。2013～2022年に著者が実施した9つの実験を通して、謎に包まれたネコの心に迫る。

読売新聞 2022/10/30

2022:9./ 4p,116p,60p
978-4-7664-2843-8

¥2,200〔税込〕





きりえや偽本シネマ大全～名作映画パロディの世界～

高木亮 著
現代書館

「隠し砦の300人」「時計じかけのおれんち」「羊たちの親睦」…。きりえ画家・高木亮が作った名作映画のパロディをブックカバーにした「偽本」のストーリー、原作映画の概要などを収録する。『新潮45』連載を書籍化。

読売新聞 2022/10/30

2022:8./ 238p
978-4-7684-5922-5

¥2,200〔税込〕



よみがえる与謝野晶子の源氏物語

神野藤 昭夫 著
花鳥社

与謝野晶子の生涯にわたる古典翻訳のなかで、「新訳源氏物語」と「新新訳源氏物語」はその象徴的顕現である。翻訳はどのようにして完成したのか。新資料の数々をもとに訳業の具体像を明らかにする。

読売新聞 2022/10/30

2022:7./ 15p,462p
978-4-909832-58-0

¥4,180〔税込〕



壁の向こうの住人たち～アメリカの右派を覆う怒りと嘆き～

A. R. ホックシールド 著
岩波書店

アメリカは自分の国なのに、社会が急速に変わってしまい、まるで自国に暮らす異邦人の気分だ。南部ルイジアナ州に暮らす共和党支持派の白人中間層の心情に向き合い、アメリカを分断する“共感の壁”を越える手がかりを探る。

日本経済新聞 2022/10/01

2018:10./
15p,371p,75p
978-4-00-061300-2

¥3,300〔税込〕



ドリトル先生物語セット 全13冊(岩波少年文庫)

ヒュー・ロフティング 著
岩波書店

大人気シリーズ、ドリトル先生の少年文庫版・全13冊セット。世界一の名医ドリトル先生が主人公の、ベスト&ロングセラーです。

日本経済新聞 2022/10/01

2000:11.
978-4-00-204127-8

¥10,956〔税込〕



魔の山<上> 改版(岩波文庫 赤433-6)

トーマス・マン 著
岩波書店

平凡無垢な青年ハンス・カストルプははからずもスイス高原のサナトリウムで療養生を送ることとなった。日常世界から隔離され、病気と死が支配するこの「魔の山」で、カストルプはそれぞれの時代精神や思想を体現する特異な人物たちに出会い、精神的成長を遂げてゆく。『ファウスト』と並んでドイツが世界に贈った人生の書。

日本経済新聞 2022/10/01

1988:10./ 598p
978-4-00-324336-7

¥1,386〔税込〕



魔の山<下> 改版(岩波文庫 赤 433-7)

トーマス・マン 著

岩波書店

平凡無垢な青年ハンス・カストルプははからずもスイス高原のサナトリウムで療養生を送ることとなった。日常世界から隔離され、病気と死が支配するこの「魔の山」で、カストルプはそれぞれの時代精神や思想を体現する特異な人物たちに出会い、精神的成長を遂げてゆく。『ファウスト』と並んでドイツが世界に贈った人生の書。

日本経済新聞 2022/10/01

1988:10./ 690p
978-4-00-324337-4

¥1,320〔税込〕



楡家の人びと<第1部>(新潮文庫 き-4-57)

北 杜夫 著

新潮社

日本経済新聞 2022/10/01

2011:7./ 366p
978-4-10-113157-3

¥649〔税込〕



楡家の人びと<第2部>(新潮文庫 き-4-58)

北 杜夫 著

新潮社

基一郎が遺した五人の子供、兄弟として生れてもこんなにも違う人生を歩いてゆく。愛すべき人物たちが織り成す、ユニークすぎる人間絵巻。

日本経済新聞 2022/10/01

2011:7./ 404p
978-4-10-113158-0

¥737〔税込〕



楡家の人びと<第3部>(新潮文庫 き-4-59)

北 杜夫 著

新潮社

戦禍、天災、疾病、事故、重なる不幸が一族を襲う。それでも残った者は明日をめざす。昭和を代表する名作長編の素晴らしきフィナーレ。

日本経済新聞 2022/10/01

2011:7./ 382p
978-4-10-113159-7

¥693〔税込〕



半席(新潮文庫 あ-84-3)

青山 文平 著

新潮社

若き徒目付の直人が上役から振られたのは、腑に落ちぬ事件にひそむ「真の動機」を探り当てる御用だった。分別ある侍たちがなぜ、武家の一線を越えたのか。直人が折れた心の真相に迫る。

日本経済新聞 2022/10/01

2018:10./ 316p
978-4-10-120093-4

¥649〔税込〕





赤頭巾ちゃん気をつけて(新潮文庫 し-73-1)

庄司 薫 著

新潮社

学生運動の煽りで入試が中止という災難に見舞われた高校3年の薫。愛犬が死に、幼馴染の由美と絶交し、踏んだり蹴ったりの1日がスタートするが…。青年の目で現代日本に通底する価値観の揺らぎを直視した60年代の青春小説。

日本経済新聞 2022/10/01

2012:3./ 198p
978-4-10-138531-0

¥539 [税込]



* 9 7 8 4 1 0 1 3 8 5 3 1 0 *



カラマーゾフの兄弟<上巻> 改版(新潮文庫 ト-1-9)

ドストエフスキー 著

新潮社

物欲の権化のような父フョードル・カラマーゾフの血を、それぞれ相異なりながらも色濃く引いた三人の兄弟。放蕩無頼な情熱漢ドミートリイ、冷徹な知性人イワン、敬虔な修道者で物語の主人公であるアリオージャ。そして、フョードルの私生児と噂されるスメルジャコフ。これらの人物の交錯が作り出す愛憎の地獄図絵の中に、神と人間という根本問題を据え置いた世界文学屈指の名作。

日本経済新聞 2022/10/01

2012:12./ 667p
978-4-10-201010-5

¥1,045 [税込]



* 9 7 8 4 1 0 2 0 1 0 1 0 5 *



カラマーゾフの兄弟<中巻> 改版(新潮文庫 ト-1-10)

ドストエフスキー 著

新潮社

19世紀中期、価値観の変動が激しく、無神論が横行する混乱期のロシア社会の中で、アリオージャの精神的支柱となっていたゾシマ長老が死去する。その直後、遺産相続と、共通の愛人グルーシェニカをめぐる父フョードルと長兄ドミートリイとの醜悪な争いのうちに、謎のフョードル殺害事件が発生し、ドミートリイは、父親殺しの嫌疑で尋問され、容疑者として連行される。

日本経済新聞 2022/10/01

2012:12./ 615p
978-4-10-201011-2

¥990 [税込]



* 9 7 8 4 1 0 2 0 1 0 1 1 2 *



カラマーゾフの兄弟<下巻> 改版(新潮文庫 ト-1-11)

ドストエフスキー 著

新潮社

父親殺しの嫌疑をかけられたドミートリイの裁判がはじまる。公判の進展をつうじて、ロシア社会の現実が明らかにされてゆくとともに、イワンの暗躍と、私生児スメルジャコフの登場によって、事件は意外な方向に発展し、緊迫のうちに結末を迎える。ドストエフスキーの没する直前まで書き続けられた本書は、有名な「大審問官」の章をはじめ、著者の世界観を集大成した巨編である。

日本経済新聞 2022/10/01

2012:12./ 682p
978-4-10-201012-9

¥1,045 [税込]



* 9 7 8 4 1 0 2 0 1 0 1 2 9 *



赤毛のアン(新潮文庫)

モンゴメリ 著
新潮社

ちょっとした手違いから、グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた2人も、明るいアンを愛するようになり、夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは少女から乙女へと成長してゆく――。愛に飢えた、元気な人參あたまのアンが巻き起す愉快的な事件の数々に、人生の厳しさと温かい人情が織りこまれた永遠の名作。

日本経済新聞 2022/10/01

2008.2./ 529p
978-4-10-211341-7

¥825〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 2 1 1 3 4 1 7 *



津田梅子～科学への道、大学の夢～

古川 安 著
東京大学出版会

優れた生物学研究者だった津田梅子。一次史料にもとづいて、科学史の視点からこれまでの伝記とは異なる津田梅子像を描出し、梅子と科学の関わりを、当時の日本の科学・教育・社会の文脈から分析。その意味を考察する。

日本経済新聞 2022/10/01

2022.1./ 2p,198p,12p
978-4-13-023078-0

¥3,080〔税込〕



* 9 7 8 4 1 3 0 2 3 0 7 8 0 *



私の文学史～なぜ俺はこんな人間になったのか?～(NHK 出版新書 681)

町田 康 著
NHK出版

独特な文体・語法と奇想天外な物語でヒット作を多発してきた作家・町田康の文学世界はいかにして生まれ、進化してきたのか。創作の裏側や時代背景、強い影響を受けた文学作品や音楽・浪曲・落語などについて語る。

日本経済新聞 2022/10/01

2022.8./ 248p
978-4-14-088681-6

¥968〔税込〕



* 9 7 8 4 1 4 0 8 8 6 8 1 6 *



されどわれらが日々(文春文庫)

柴田 翔 著
文芸春秋

何一つ確かなものもない時代を懸命に生きようとした二人の男女を描き、60年代～70年代にヒットした青春文学の大ベストセラー

日本経済新聞 2022/10/01

2007.11./ 269p
978-4-16-710205-0

¥627〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 2 0 5 0 *



女たちのシベリア抑留(文春文庫 こ48-1)

小柳 ちひろ 著
文藝春秋

極寒の地で抑留生活に耐えた少女たち、収容所で出産した女性、ソ連兵にさらわれた少女…。長く歴史の陰に埋もれていたシベリアに抑留された女性たちの声をつぶさに拾い上げた番組のディレクターが綴るノンフィクション。

日本経済新聞 2022/10/01

2022.9./ 349p
978-4-16-791937-5

¥880〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 9 3 7 5 *



職場のウェルビーイングを高める～1億人のデータが導く「しなやかなチーム」の共通項～

ジム・クリフトン／ジム・ハーター 著

日経B P社

世界中で収集した豊富なデータや過去の分析を踏まえ、職場のウェルビーイングを高める5つの要素を切り口に、しなやかで永続する組織やチームのあり方を問い直す。ウェブテストのアクセスコード(袋とじ、1回のみ使用可)付。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:7./ 316p
978-4-296-11434-4

¥2,640 [税込]



コスタリカ伝説集

エリアス・セレドン 編

国書刊行会

生贖の泉、宿命の廃墟、首なし神父、サバンナの幽霊…。豊かな自然とスペイン人支配の歴史のなかで生まれ、長く語り継がれてきた中米コスタリカの伝説を、「土地の伝承」「宗教伝説」「怪異譚」の三部構成で紹介する。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:5./ 395p
978-4-336-07348-8

¥3,300 [税込]



やっと訪れた春に

青山文平 著

祥伝社

本家と分家から交代で藩主を出す橋倉藩。割れて当たり前の藩を割れさせぬ、重すぎる命を課せられた近習目付たちの命運は…。名もなき武家と人々の生を、鮮やかな筆致で描き出す。『小説NON』連載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:7./ 247p
978-4-396-63629-6

¥1,760 [税込]



韓国の変化日本の選択～外交官が見た日韓のズレ～(ちくま新書 1679)

道上 尚史 著

筑摩書房

近くて遠い隣国、韓国とどう向き合うべきか。長きにわたり韓国に駐在し、現地事情に精通した外交官が、韓国市民の本音や日本観を冷静に分析。中国や世界も視野に、日本の進むべき道を提言する。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:8./ 250p
978-4-480-07500-0

¥946 [税込]



武器化する世界～ネット、フェイクニュースから金融、貿易、移民まであらゆるものが武器として使われている～

マーク・ガレオッティ 著

原書房

ネットからフェイクニュース、金融、貿易、移民にいたるまで、あらゆるものが「武器」として私たちを取り囲んでいる「新世界大戦」の現実。「21世紀の情報総力戦」の全体像を、さまざまな実例とともにわかりやすく案内する。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:7./ 279p
978-4-562-07192-0

¥2,420 [税込]





モルドヴァ民話

グリゴール・ポテザートゥ 編

明石書店

ルーマニアとウクライナに国境を接する東欧の小国モルドヴァの民話を紹介。「暁の王子」「宵の明星と明けの明星」「緑の王の息子アリマン王子の物語」など全 13 話を収録する。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:7./ 361p
978-4-7503-5414-9

¥2,750〔税込〕



入管問題とは何か〜終わらない<密室の人権侵害>〜

鈴木 江理子／児玉 晃一 著

明石書店

日本には、正規滞在が認められない外国人を収容する入管収容施設がある。収容の可否に司法は関与せず、無期限収容も追放も可能。入管収容施設が持つ「暴力性」に対抗する論考やコラムを収録し、不法な外国人への眼差しに迫る。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:9./ 297p
978-4-7503-5448-4

¥2,640〔税込〕



リアリティ番組の社会学〜『リアルワールド』、『サバイバー』から『バチェラー』まで〜

ダニエル・J・リンデマン 著

青土社

婚活から無人島でのサバイバル、片づけなどありとあらゆる日常の営みが題材となりつつあるリアリティ番組。人種、ジェンダー、階級、セクシュアリティなどの視点から精緻に読み解き、そこに隠された社会の力学を明らかにする。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:8./ 358p,6p
978-4-7917-7484-5

¥2,640〔税込〕



カリブ海アンティル諸島の民話と伝説

テレーズ・ジョルジェル 著

作品社

ヨーロッパから来た入植者たち、アフリカから来た奴隷たちの物語と、カリブ族の物語が混ざり合って生まれた民話集。人間たち、動物たち、そして神様や悪魔たちの、胸躍る物語全 34 話を、62 点の挿絵とともに収録する。

日本経済新聞 2022/10/01

2021:11./ 275p
978-4-86182-876-8

¥2,860〔税込〕



この星で生きる理由〜過去は新しく、未来はなつかしく〜

佐治晴夫 著

KTC 中央出版

理学者で天文台台長でもある著者が、「月と音楽」「戦争とプラネタリウム」等、専門的な知識と日常の景色を重ねて語る。東急沿線情報誌『SALUS』連載、NHK「ラジオ深夜便」での対話の内容を元に単行本化。

日本経済新聞 2022/10/01

2022:9./ 237p
978-4-87758-836-6

¥1,760〔税込〕





定本二人で紡いだ物語

米沢 富美子 著
出窓社

日本を代表する女性物理学者が、最愛の夫を失った失意の中で綴った感動の半生記から12年。夫の他界から今日までの間も途切れることなく紡ぎ続けた「ふたりの時間」を綴り、「新たな章」として加えた定本。

日本経済新聞 2022/10/01

2012:12./ 301p
978-4-931178-82-3
¥1,980〔税込〕



犠牲者意識ナショナリズム～国境を超える「記憶」の戦争～

林 志弦 著
東洋経済新報社

植民地主義や世界大戦、ジェノサイドで犠牲となった歴史的記憶を後の世代が継承し、自分たちを犠牲者とみなして正当化を図るナショナリズム。世界各地で激しさを増している、記憶が引き起こす歴史認識紛争に警鐘を鳴らす書。

日本経済新聞 2022/10/01、朝日新聞 2022/10/15

2022:7./ 19p,529p
978-4-492-21252-3
¥3,520〔税込〕



ミャンマー現代史(岩波新書 新赤版 1939)

中西 嘉宏 著
岩波書店

2021年の軍事クーデター以降、厳しい弾圧が続くミャンマー。軍の目的は？アウンサン・スーチーはなぜクーデターを防げなかった？暴力と分断が連鎖する現代史の困難が集約されたその歩みを構造的に読み解く。

日本経済新聞 2022/10/01、朝日新聞 2022/10/22

2022:8./
12p,281p,17p
978-4-00-431939-9
¥946〔税込〕



「美味しい」とは何か～食からひもとく美学入門～(中公新書 2713)

源河 亨 著
中央公論新社

「美味しい」「まずい」は好みの問題？レビューサイトは純粋に食事を楽しむ邪魔？インスタントラーメンは芸術か？絵画や音楽ではなく、身近な食事から扉を開く、やさしくも奥深い美学入門。

日本経済新聞 2022/10/01、読売新聞 2022/10/09

2022:8./ 7p,213p
978-4-12-102713-9
¥902〔税込〕



「修養」の日本近代～自分磨きの150年をたどる～(NHK ブックス 1274)

大澤 絢子 著
NHK出版

何が「働くノン・エリート」を駆り立てたのか？「自分磨き」の志向である「修養」。宗教との関わりという観点から、明治以降の際立った現象を取り上げ、立身出世や努力などをキーワードに、近現代日本の修養の系譜をたどる。

日本経済新聞 2022/10/01、読売新聞 2022/10/09

2022:8./ 286p
978-4-14-091274-4
¥1,760〔税込〕





ぼくらの戦争なんだぜ(朝日新書 874)

高橋源一郎 著
朝日新聞出版

教科書、戦争小説、戦争詩を読んで見えてきた、人々を戦争に駆り立てることばの正体とは。遠い世界での「彼らの戦争」を考えながら、「ぼくらの戦争」とは何なのかを考える。『小説トリッパー』連載を改題、加筆修正し新書化。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:8./ 473p
978-4-02-295157-1
¥1,320〔税込〕



噴火と寒冷化の災害史～「火山の冬」がやってくる～(角川新書 K-398)

石 弘之 著
KADOKAWA

地震を誘発し、さまざまな被害をもたらし、都市機能をまひさせ、地球を寒冷化させる火山噴火。その影響は多大で、文明が減びるなど歴史を大きく変えてきた。地球環境史の視点から、火山噴火と気象災害の歴史をたどる。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:8./ 295p
978-4-04-082439-0
¥1,056〔税込〕



沈黙の春 改版(新潮文庫)

レイチェル・カーソン 著
新潮社

自然を忘れた現代人に魂のふるさとを思い起こさせる美しい声と、自然を破壊し人体を蝕む化学薬品の浸透、循環、蓄積を追究する冷徹な眼、そして、いま私たちは何をなすべきかを訴えるたくましい実行力。三つを備えた、自然保護と化学物質公害追及の先駆的な本がこれだ。ドイツ、アメリカなど多くの国の人々はこの声に耳を傾け、現実を変革してきた。日本人は何をしてきたか？

日本経済新聞 2022/10/08

2004:6./ 394p
978-4-10-207401-5
¥781〔税込〕



悪党たちの中華帝国(新潮選書)

岡本 隆司 著
新潮社

安禄山、馮道、永楽帝、王陽明、梁啓超…。中華帝国史上、「闇落ち」した12人の男たち。その「悪党」ぶりを検討し、人物像を描きなおすとともに、中華帝国を構成する時代相を明らかにする。『フォーサイト』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:8./ 351p
978-4-10-603888-4
¥1,870〔税込〕



サイレント・アース～昆虫たちの「沈黙の春」～

デイヴ・ゲールソン 著
NHK出版

集約農業や森林伐採による生息域の減少や急激な気候変動も加わり、昆虫の存在は危機に瀕している。昆虫をこよなく愛する昆虫学者が、地球の未来を守る具体的な行動指針を示す。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:8./ 403p,27p
978-4-14-081910-4
¥2,750〔税込〕





静寂の荒野

ダイアン・クック 著

早川書房

環境破壊が進んだ近未来。都市の大気汚染から娘の命を守るため、ピーアトリスは残存する自然でのとある実験に参加する。サバイバルを始め、自然での生活に馴染むにつれ、母娘の関係には予期せぬ変化がおとずれ...

日本経済新聞 2022/10/08

2022:9./ 526p
978-4-15-210162-4

¥4,070 [税込]



スポーツ毒親～暴力・性虐待になぜわが子を差し出すのか～

島沢 優子 著

文藝春秋

わが子のスポーツでの活躍に興奮し熱中する親たち。口止め誓約書に署名させる親、少年球児をうつ状態にした父など、勝つためなら指導者の暴力・パワハラ・セクハラにも目をつぶる毒親の恐るべき実態を明らかにする。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:5./ 223p
978-4-16-391534-0

¥1,540 [税込]



部活はそんなに悪者なのか!?!～脱ブラック部活!現役教師の挑戦～

猿橋善宏／大利実 著

インプレス

軍隊的で理不尽な部活指導を抜け出すには。公立中学校の野球部を30年間指導してきた著者が、学校の役割や部活動の教育的価値を問いながら、部活動ガイドライン、主体性を育むための指導法などを語る。

日本経済新聞 2022/10/08

2020:5./ 251p
978-4-295-00885-9

¥1,650 [税込]



再興 THE KAISHA～日本のビジネス・リインベンション～

ウリケ・シェーデ 著

日経BP社

世界が必要とするディープテックのニッチ市場で比類のない競争力を誇る日本企業。ドイツ人経営学者が、21世紀以降の日本企業の行動を分析。日本企業の再興への取り組みを通じて、日本悲観論・軽視論を退ける。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:8./ 405p
978-4-296-11360-6

¥2,750 [税込]



親衛隊士の日(河出文庫 ソ 2-2)

ウラジーミル・ソローキン 著

河出書房新社

2028年のロシア。復活した帝国で特権を享受する親衛隊士たち。貴族屋敷への押し込み、謎の魚の集団トリップ、不思議な能力をもつ天眼女、蒸し風呂の儀式...。ロシアの現在を予言したと称される傑作長編。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:9./ 274p
978-4-309-46761-0

¥1,408 [税込]





DHC スラップ訴訟～スラップされた弁護士の反撃そして全面勝利～

澤藤 統一郎 著

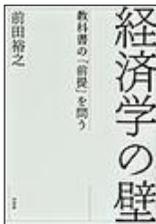
日本評論社

批判封じと威圧のために DHC から名誉毀損で訴えられた弁護士は、表現の自由のために闘い、完全勝訴した。6年9か月に及ぶ訴訟の顛末と、訴訟を切り口に見えてきた諸問題についてまとめる。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:7./ 11p,240p
978-4-535-52637-2

¥1,870〔税込〕



経済学の壁～教科書の「前提」を問う～

前田 裕之 著

白水社

新古典派、マルクス経済学、行動経済学、神経経済学などすべての学派を網羅した経済学案内。異端派を含め経済学の諸学説の源流や基本的な考え方を総ざらいし、本質を掘り下げ、経済学との付き合い方を提言する。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:8./ 294p,10p
978-4-560-09447-1

¥2,420〔税込〕



日ソ戦争 南樺太・千島の攻防～領土問題の起源を考える～

富田武 著

みすず書房

ヤルタ密約前後の米ソの角逐から、ソ連による南樺太・千島の占領と併合、現在まで、ロシア側資料もふんだんに使用し、日ソ各兵士や住民の多様な記録から、戦闘の全貌と詳細を論じる。「日ソ戦争 1945年8月」の続編。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:7./ 8p,261p,2p
978-4-622-09526-2

¥3,740〔税込〕



逃亡者の社会学～アメリカの都市に生きる黒人たち～

アリス・ゴッフマン 著

亜紀書房

犯罪が日常化した暮らし、巨大な影響を及ぼす司法システム、一筋縄ではない人々の関わり…。フィラデルフィアの貧しい黒人居住地区に分け入り、警察に追われ続ける男性たちと、彼らを支える女性や家族のあり方を明らかにする。

日本経済新聞 2022/10/08

2021:3./ 495p
978-4-7505-1638-7

¥2,970〔税込〕



くだらないものがわたしたちを救ってくれる

キム ジュン 著

柏書房

長時間労働、低賃金、就職難にあえぎながら、他人の論文に打ちのめされたり励まされたり…。研究することの楽しみと苦しみを生き生きと描いた、「線虫」学者の科学エッセイ。

日本経済新聞 2022/10/08

2022:7./ 173p
978-4-7601-5461-6

¥1,870〔税込〕





選手主体の時短練習で花園へ～静岡聖光学院ラグビー部の部活改革～

佐々木陽平 著
竹書房

短時間の効率的な練習と選手の自主性を育てることで、結果を残し続けている静岡聖光学院ラグビー部。「映像をもとに客観的にアドバイスをする」「ミスを指摘せず気づかせる」など、その指導法を詳しく紹介する。

日本経済新聞 2022/10/08

2021:10./ 223p
978-4-8019-2810-7
¥1,760〔税込〕



日本の体罰～学校とスポーツの人類学～

アーロン・L・ミラー 著
共和国/editorial republica

現在も過剰な暴力性が問題となる「体罰」。海外では宗教コミュニティで形成される道徳や倫理規範が、なぜ日本では公教育で担われるのか。カリフォルニア在住の気鋭の日本研究者が日本の体罰の現実とその思想的背景を検証する。

日本経済新聞 2022/10/08

2021:6./ 402p
978-4-907986-11-7
¥3,960〔税込〕



遺書

松本人志 著
朝日新聞出版

日本経済新聞 2022/10/15

1994:10./ 164p
978-4-02-256809-0
¥1,068〔税込〕



ファスト教養～10分で答えが欲しい人たち～(集英社新書 1133)

レジー 著
集英社

社交スキルアップのために古典を読み、名著の内容を YouTube でチェック…。このような「ファスト教養」がビジネスパーソンの中で広まっている。現代の「教養論」を分析しながら、日本の息苦しさの正体を明らかにする。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:9./ 251p
978-4-08-721233-4
¥1,056〔税込〕



花のれん 改版(新潮文庫)

山崎 豊子 著
新潮社

日本経済新聞 2022/10/15

2005:4./ 327p
978-4-10-110403-4
¥605〔税込〕



青が散る<上>(文春文庫)

宮本 輝 著
文芸春秋

新設大学でテニス部を創部しようとする椎名燎平と仲間たち。青春のひたむきさと悩み、淡い恋、宮本文学の代表作が新装版で登場

日本経済新聞 2022/10/15

2007:5./ 318p
978-4-16-734822-9
¥704〔税込〕





青が散る<下>(文春文庫)

宮本 輝 著

文芸春秋

日本経済新聞 2022/10/15

2007:5./ 322p
978-4-16-734823-6

¥704〔税込〕



水俣病闘争史

米本 浩二 著

河出書房新社

最もラディカルで大規模な公害闘争として知られる水俣病闘争は、どのように生まれ、全国的な闘争に展開していったのか。渡辺京二や石牟礼道子の知られざる運動へのコミットとともに、水俣病闘争の歴史をわかりやすく描く。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:8./ 229p
978-4-309-22862-4

¥2,750〔税込〕



哲学の門前

吉川浩満 著

紀伊國屋書店出版部

著者が、日々の暮らしで生じる哲学との出会いや付き合いについてまとめた随筆集。自身の経験や見聞をもとに、哲学者や隣接分野の学者、作家たちの力を借りて考察する。山本貴光による「吉川浩満くんのこと」も収録。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:8./ 269p
978-4-314-01193-8

¥1,980〔税込〕



漁港の肉子ちゃん(幻冬舎文庫 に-13-2)

西 加奈子 著

幻冬舎

男にだまされた母・肉子ちゃんと一緒に流れ着いた北の町。太っていて不細工で、明るい肉子ちゃん。キクリんは、そんなお母さんが最近少し恥ずかしい…。港町に生きる肉子ちゃん母娘と人々の息づかいを生き活きと描く。

日本経済新聞 2022/10/15

2014:4./ 341p
978-4-344-42184-4

¥660〔税込〕



自炊大好き(だいわ文庫 411-5D)

東海林 さだお 著

大和書房

好きなものを好きなように作って好きなように食べ、誰にも気兼ねせず、ゆっくり、のんびり。自分ひとりのためだけだから許される、ゆるい自炊と実験的な食べ方…。オリジナルレシピが満載の選りすぐりエッセイ集。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:9./ 287p
978-4-479-32027-2

¥880〔税込〕





日朝交渉 30 年史(ちくま新書 1680)

和田 春樹 著
筑摩書房

歴代の首相や外交官が試みた交渉はなぜ頓挫したのか? 日朝両国が再び歩み寄る手がかりはあるのか? 国交交渉が始まった 1991 年にさかのぼり、膨大な資料と当事者たちの貴重な証言から、失敗の背景を徹底検証する。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:9./ 264p,6p
978-4-480-07507-9

¥968 [税込]



貞観政要(ちくま学芸文庫 コ 43-1)

呉 兢 著
筑摩書房

唐代、治世の問題を真正面から取り扱い、帝王学の指南書となった「貞観政要」。そこには、汲めども尽きぬ教訓が今も満ち溢れている。明代の通行本(戈直本)を底本とし、全篇より 70 篇を精選し訳出する。

日本経済新聞 2022/10/15

2015:9./ 256p
978-4-480-09695-1

¥1,100 [税込]



減速する素晴らしい世界

ダニー・ドーリング 著
東洋経済新報社

オックスフォード大学の気鋭の地理学者が、人口、経済、情報、テクノロジー、債務など、膨大なデータを分析。あらゆるものがすでに減速していることを解明し、人口が減少し、イノベーションが停滞した素晴らしい未来を示す。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:7./ 539p
978-4-492-39666-7

¥3,080 [税込]



フォレスト・ダーク(エクス・リブリス)

ニコール・クラウス 著
白水社

ニューヨークで暮らす作家のニコールは、テルアビブでカフカにまつわる仕事を依頼され、夢と現実が交錯する体験をする。同じくニューヨークの弁護士エプスティーンは、人生に疑問を感じ、生まれ故郷テルアビブへと旅立ち…。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:9./ 316p
978-4-560-09076-3

¥3,960 [税込]



人間というもの(PHP文庫)

司馬遼太郎 著
PHP 研究所

日本経済新聞 2022/10/15

2004:4./ 233p
978-4-569-66176-6

¥544 [税込]





なぜ、TikTok は世界一になれたのか?

マシュー・ブレナン 著

かんき出版

アパートの一室から始まったスタートアップは、どうやって世界を席卷したのか。

TikTok を運営するバイトダンス社の成功の表と裏を明かす。アテンションエコノミーの全貌も理解できる書。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:7./ 335p
978-4-7612-7620-1

¥1,980〔税込〕



ボディ&ソウル〜ある社会学者のボクシング・エスノグラフィー〜

ロイック・ヴァカン 著

新曜社

シカゴの黒人ゲッター地区にあるボクシングジムに入門した社会学者が、その個人的体験を丹念にたどり、身体育成工場としてのボクシングジムにおいて、固有の動作・思考・感情が身体化される過程を解剖する。

日本経済新聞 2022/10/15

2013:2./ 14p,406p
978-4-7885-1319-8

¥4,730〔税込〕



リーダーの禅語〜並みのビジネス論より役立つ50の言葉〜(知的生きかた文庫 ま41-9)

枅野 俊明 著

三笠書房

リーダーが身につけるべき力を「風格」「育成力」「平常心」「行動力」「信頼力」の5つに集約し、それらを身につけるためのヒントとなる50の「禅語」を、わかりやすい解説とともに紹介する。

日本経済新聞 2022/10/15

2020:10./ 222p
978-4-8379-8686-7

¥748〔税込〕



よくわかる音楽著作権ビジネス<基礎編> 5th Edition

安藤 和宏 著

リットーミュージック

音楽著作権ビジネスの法的構造と業界慣行を、マンガによるケース・スタディ形式でわかりやすく解説する。サブスクリプション・サービスや動画投稿サイトなど、音楽ビジネスの現在をとらえて大幅リニューアル。

日本経済新聞 2022/10/15

2018:2./ 391p
978-4-8456-3141-4

¥3,300〔税込〕



ホームレス中学生

田村 裕 著

ワニブックス

麒麟・田村のせつな面白い公園生活。13歳のときに突然住む家を無くし、近所の公園に一人住むようになった田村少年。ダンボールで飢えをしのいだ日々や、いつも見守ってくれた亡き母への想いが詰まった貧乏自叙伝。

日本経済新聞 2022/10/15

2007:9./ 191p
978-4-8470-1737-7

¥1,430〔税込〕





リーダーを目指す人の心得 349p 2012

コリン・パウエル、トニー・コルツ 著
飛鳥新社

ペプシ工場の清掃夫から国務長官にまで上り詰めた著者が、人生やリーダーシップについてのルールを紹介。サラリーマンが組織内で昇進するための正攻法を説く。

日本経済新聞 2022/10/15

2012:10./ 349p
978-4-86410-193-6

¥1,870〔税込〕



黒田杏子の俳句〜櫻・螢・巡禮〜

高田 正子 著
深夜叢書社

俳人・黒田杏子のエッセイや先達の名句を自在に引きながら、テーマ別に杏子俳句の背景を探索。作品の魅力を緻密に、そしてスリリングに読み解き、その句業の軌跡を辿る。

日本経済新聞 2022/10/15

2022:8./ 523p
978-4-88032-471-5

¥3,300〔税込〕



フィールダー

古谷田 奈月 著
集英社

小児性愛、ルッキズム、ソシャゲ中毒、猫を愛するということ。総合出版社の編集者・橘を中心に、現代を揺さぶる「不都合」の数々が絡み合い…。誰かを「愛でる」行為の本質を鮮烈に暴く長編小説。『すばる』連載を単行本化。

日本経済新聞 2022/10/15、朝日新聞 2022/10/22

2022:8./ 333p
978-4-08-771807-2

¥2,090〔税込〕



分断の克服 1989-1990〜統一をめぐる西ドイツ外交の挑戦〜(中公選書 128)

板橋 拓己 著
中央公論新社

ベルリンの壁崩壊後、ソ連の反対、英仏の大国ドイツ復活の危惧の中、「ヨーロッパの分断」を克服する外交を展開したのが、西ドイツ外相ゲンシャーだった。ドイツ統一をめぐる激動の国際政治を、最新の史料を駆使し描き出す。

日本経済新聞 2022/10/15、朝日新聞 2022/10/22、読売新聞 2022/10/30

2022:9./ 5p,274p
978-4-12-110129-7

¥1,760〔税込〕



日本のカーニバル戦争〜総力戦下の大衆文化 1937-1945〜

ベンジャミン・ウチャヤマ 著
みすず書房

総力戦下で国民のガス抜きは不謹慎になり、メディアも煽って「カーニバル化」し、それをまた国民は酔うように消費した。具体例をあげながら、戦時の大衆の素顔に新しい角度から迫る。

日本経済新聞 2022/10/15、朝日新聞 2022/10/29

2022:8./
15p,385p,23p
978-4-622-09523-1

¥4,620〔税込〕





キリンのひづめ、ヒトの指～比べてわかる生き物の進化～

郡司 芽久 著
NHK出版

ヒトとキリンは見た目はまったく違うけれど、骨格の構造など共通点も多くある。手足、首、皮膚、心臓など8つの器官を通して、動物の体に刻まれた進化の歴史をひも解く。『本がひらく』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/10/15、毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 221p
978-4-14-081917-3

¥1,650〔税込〕



農協の闇(講談社現代新書 2673)

窪田 新之助 著
講談社

顧客を食い物にする不正販売、過大なノルマによる自爆営業、権力と金に執着する経営者たち…。1000万人以上の組合員を抱える巨大組織、JAの腐敗の構造を徹底的にあぶり出す。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:8./ 333p
978-4-06-529254-9

¥1,210〔税込〕



愚者の階梯

松井 今朝子 著
集英社

「勸進帳」は不敬である。昭和10年、国粹主義者の猛抗議をきっかけに、歌舞伎の殿堂で連続怪死事件が発生。江戸歌舞伎狂言作者の末裔、桜木治郎が大いなる謎に挑む。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:9./ 357p
978-4-08-771803-4

¥2,090〔税込〕



地域公共交通政策論

宿利 正史／長谷 知治 編
東京大学出版会

地域の公共交通サービスを確保・維持・改善していくために必要な方策とは。デマンド交通等の実例を最前線で活躍する執筆陣が解説。転換期に立つ地域公共交通の持続可能性を探る。東京大学公共政策大学院の授業をもとに書籍化。

日本経済新聞 2022/10/22

2021:4./ 11p,244p
978-4-13-042152-2

¥3,960〔税込〕



サイバー戦争終末のシナリオ<上>

ニコール・パーローズ 著
早川書房

セキュリティホールの情報を高額で取引するサイバー武器商人。敵国のインフラを壊滅させるタイミングを窺う政府機関やテロリスト…。世界中の「見えない軍拡競争」の実態取材し、サイバー最終戦争の危機を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:8./ 382p
978-4-15-210154-9

¥2,530〔税込〕





サイバー戦争終末のシナリオ<下>

ニコール・パーローズ 著

早川書房

セキュリティホールを高く取引するサイバー武器商人。敵国のインフラを壊滅させるタイミングを窺う政府機関やテロリスト…。世界中の「見えない軍拡競争」の実態を取材し、サイバー最終戦争の危機を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:8./ 346p
978-4-15-210155-6

¥2,530〔税込〕



お天気ハンター、異常気象を追う(文春新書 1373)

森 さやか 著

文藝春秋

異常気象はなぜこれほどまでに増えたのか。一方、世界ではビル・ゲイツが気象ビジネスに特化したファンドを作るなど、商機として気候変動が注目される。気象予報士が綴る、新たな教養としての「異常気象」入門。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:8./ 254p
978-4-16-661373-1

¥935〔税込〕



経営12カ条～経営者として貫くべきこと～

稲盛 和夫 著

日経BP社

「どうすれば会社経営がうまくいくのか」という経営の原理原則を、著者の経験をもとに、Q&Aを交えわかりやすく解説する。盛和塾で行った講話をもとに書籍化。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:9./ 243p
978-4-296-11498-6

¥1,870〔税込〕



鶴見俊輔の言葉と倫理～想像力、大衆文化、プラグマティズム～

谷川 嘉浩 著

人文書院

哲学と市民運動をまたぎ、戦後日本に巨大な足跡を残した鶴見俊輔。気鋭の哲学者が、残された膨大な言葉の数々に分け入り、単純化を避けつつ独自の視点から思想の可能性をつかみ出し、現代の倫理として編み直す。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:9./ 388p
978-4-409-04121-5

¥4,950〔税込〕



教養としての「ラテン語の授業」～古代ローマに学ぶリベラルアーツの源流～

ハン・ドンイル 著

ダイヤモンド社

ラテン語の名言を読み解きながら、文法、ラテン語を母語とする国々の歴史、文化、法律などに焦点を当て、ラテン語を通して見える世界の面白さを幅広くとり上げる。ソウルの西江大学「初級・中級ラテン語」の講義内容を書籍化。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:9./ 275p
978-4-478-11328-8

¥1,980〔税込〕





プルースト読書の喜び～私の好きな名場面～(ちくま学芸文庫 ホ 4-2)

保莉 瑞穂 著
筑摩書房

紅茶とマドレーヌ、海辺の乙女たち、祖母の死。プルーストの小説「失われた時を求めて」から、著者が鍾愛してやまない場面を読み解き、この大作へ読者を誘う。読書の愉悦をあますところなく伝えるエッセー。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:9./ 388p
978-4-480-51141-6
¥1,430〔税込〕



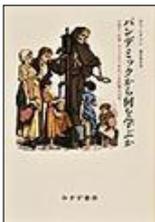
82 年生まれ、キム・ジョン

チョ・ナムジュ 著
筑摩書房

ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジョン。誕生、学生時代、受験、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはだかる困難と差別を描く。

日本経済新聞 2022/10/22

2018:12./ 189p
978-4-480-83211-5
¥1,650〔税込〕



パンデミックから何を学ぶか～子育て・仕事・コミュニティをめぐる医療人文学～

カリ・ニクソン 著
みすず書房

医学・科学史、心理学、行動科学、文学などの豊富な知見とともにパンデミック下の市民社会の反応を分析。「女たちの声を聞け」「統計は敵にもなる」「共通の基盤を見つけよう」等、よりよい隔離生活のための 30 の教訓を示す。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:9./
19p,222p,35p
978-4-622-09531-6
¥3,740〔税込〕



韓国現代詩選 新版

茨木 のり子 編
亜紀書房

いい詩は、その言語を使って生きる民族の、感情・理性のもっとも良きものの結晶化である。現実に根ざしつつ大胆で豊かな発想に満ちている韓国現代詩を、豊潤で余韻に満ちた茨木のり子の名訳で贈る。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:10./ 209p
978-4-7505-1768-1
¥2,420〔税込〕



公共交通が人とまちを元気にする～数字で読みとく!富山市のコンパクトシティ戦略～

松中 亮治/大庭 哲治/鈴木 義康/後藤 正明/辻堂 史子/鎌田 佑太郎/土生 健太郎 著
学芸出版社

富山市等が GPS 端末を使って捉えた「高齢者交通行動調査」の結果から、公共交通は健康によく、中心市街地の活性化に貢献することを客観的・定量的に実証。都市・保健政策関係者に科学的な根拠と政策立案へのヒントを伝える。

日本経済新聞 2022/10/22

2021:6./ 166p
978-4-7615-2777-8
¥2,420〔税込〕





5番レーン(鈴木出版の児童文学)

ウン・ソホル 著
鈴木出版

小6の女の子、カン・ナルは常勝を誇る水泳部のエースだが、最近ライバルに負け続け、悩んでいた。そして、ライバルの不正を疑ったことから、ある事件を引き起こしてしまい…。少女の成長する姿を描く青春ストーリー。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:6./ 252p
978-4-7902-3391-6

¥1,760〔税込〕



ドイツにおける運輸連合制度の意義と成果

青木 真美 著
日本経済評論社

ドイツにおいて都市の公共交通の調整と運営を担ってきた「運輸連合」について、1960年代の誕生期から現在までの発展とその背景を示し、都市交通政策における意義と役割を明らかにする。他国との比較や日本への示唆も提示。

日本経済新聞 2022/10/22

2019:8./ 6p.216p
978-4-8188-2534-5

¥4,070〔税込〕



代議士の誕生(NIKKEI BP CLASSICS)

ジェラルド・カーティス、山岡 清二、大野 一 著
日経B P社

政権交代がなぜ、今、起きたのかのヒントがここにある。佐藤文生という代議士候補の姿を追いながら、日本の草の根民主主義の実態を徹視的に描いた日本政治論の新訊。

日本経済新聞 2022/10/22

2009:9./ 361p
978-4-8222-4765-2

¥2,640〔税込〕



自動車の社会的費用・再考

上岡 直見 著
緑風出版

宇沢弘文は1974年刊の「自動車の社会的費用」でクルマ社会の負の側面を指摘し警鐘を鳴らしたが、その後も自動車と道路の増加は止まらなかった。半世紀が経過したいま、自動車に依存した社会の転換について改めて考える。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:5./ 273p
978-4-8461-2208-9

¥2,970〔税込〕



PUBLIC DIGITAL~巨大な官僚制組織をシンプルで機敏なデジタル組織に変えるには~

アンドリュー・グリーンウェイ/ベン・テレット/マイク・ブラッケン/トム・ルースモア 著
英治出版

政府・自治体をはじめ旧来型大型組織のデジタル化は、どうすれば成功するのか。世界各国で模倣されるイギリス政府のDXを担った組織GDS(政府デジタルサービス)のリーダーが、実践を基にデジタル組織のつくり方を語る。

日本経済新聞 2022/10/22

2022:8./ 323p
978-4-86276-317-4

¥2,640〔税込〕





地域モビリティの再構築

薫風社

コロナ禍で更なる危機に瀕している地域公共交通。地域公共交通を、人々の日常的な移動を担保する「地域モビリティ」としてあらためて捉えなおし、現状の課題を整理したうえで、その再構築に向けた論点と方向性、方策を示す。

日本経済新聞 2022/10/22

2021:8./ 291p
978-4-902055-41-2
¥1,870〔税込〕



転生〜満州国皇帝・愛新覚羅家と天皇家の昭和〜

牧久 著

小学館

清朝最後の皇帝、満州国初代皇帝、そして北京市民として3つの人生を生きた愛新覚羅溥儀。嵯峨侯爵家の娘・浩を生涯愛した弟の溥傑。溥儀と溥傑兄弟の数奇な運命を余すことなく辿り、もうひとつの昭和を描く評伝。

日本経済新聞 2022/10/22、読売新聞 2022/10/30

2022:8./ 493p
978-4-09-388858-5
¥3,300〔税込〕



英語教育論争史(講談社選書メチエ 771)

江利川 春雄 著

講談社

早く始めればいいのか? シャペレればいいのか? 明治から100年以上続く英語教育論争。加藤周一の義務化反対論、筑紫哲也・松本道弘と中村敬の「英語帝国主義論争」など、英語教育のあり方をめぐる真剣勝負を紹介する。

日本経済新聞 2022/10/22、毎日新聞 2022/10/22、朝日新聞 2022/10/29

2022:9./ 293p
978-4-06-529327-0
¥2,035〔税込〕



評伝モハメド・アリ〜アメリカで最も憎まれたチャンピオン〜

ジョナサン・アイグ 著

岩波書店

不遜な態度で最も嫌われた世界ヘビー級チャンピオンは、いかにして史上最も愛される「反逆のアイコン」になったのか? モハメド・アリの知られざる悲劇を、多数の関係者への取材、新資料から描きだす。

日本経済新聞 2022/10/29

2022:9./
15p,589p,16p
978-4-00-024548-7
¥3,960〔税込〕



時間の比較社会学(岩波現代文庫)

真木 悠介 著

岩波書店

平凡無垢な青年ハンス・カストルプははからずもスイス高原のサナトリウムで療養生活を送ることとなった。日常世界から隔離され、病気と死が支配するこの「魔の山」で、カストルプはそれぞれの時代精神や思想を体現する特異な人物たちに出会い、精神的成長を遂げてゆく。『ファウスト』と並んでドイツが世界に贈った人生の書。

日本経済新聞 2022/10/29

2003:8./ 331p
978-4-00-600108-7
¥1,606〔税込〕





小さなことばたちの辞書

ピップ・ウィリアムズ 著
小学館

辞典編纂者の父が勤める写字室で、エズメは「ポンドメイド(はしため)」という単語が書かれたカードを見つけ…。女性参政権運動と第一次大戦に揺れる激動の時代、「捨てられたことば」の蒐集に生涯を捧げた女性を描く。

日本経済新聞 2022/10/29

2022:10./ 526p
978-4-09-356735-0

¥3,300〔税込〕



競争法ガイド

デビッド ガーバー 著
東京大学出版会

競争法の仕組みとルールを解説した、グローバル化とデジタル化の時代の入門書。競争法を身近で理解しやすいものとし、競争法の様々な顔を国内的なものから世界的なものに至るまで明らかにする。

日本経済新聞 2022/10/29

2021:6./ 14p,217p
978-4-13-031200-4

¥3,300〔税込〕



椎名林檎論～乱調の音楽～

北村 匡平 著
文藝春秋

規格外の才能を前に、我々は余りに言葉足らず過ぎた。歌詞から和音、構成、歌唱、意匠まで、椎名林檎の音楽を“感じ直し”、統合的・徹底的に論じ尽くす。『文學界』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/10/29

2022:10./ 389p
978-4-16-391606-4

¥2,200〔税込〕



ビッグデータと競争政策

モーリス・E・スタック／アレン・P・グランズ 著
中央経済社

GAFAMのような巨大プラットフォーム市場で公正な競争は可能か。ビッグデータのプライバシー、競争への影響を取り上げ、米国と欧州連合の具体例を挙げながら、データ駆動型経済における政策アプローチの問題を論じる。

日本経済新聞 2022/10/29

2022:7./ 9p,344p
978-4-16-391916-6

¥4,950〔税込〕



競争政策の経済学～人口減少・デジタル化・産業政策～

大橋 弘 著
日本経済新聞出版社

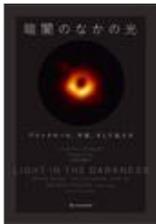
人口減少による市場縮小、経済のデジタル化という環境変化に直面し、競争政策の大胆な転換が必要な日本。携帯電話、電力、八幡・富士合併など豊富な事例分析にもとづいて、新しい政策方針を明らかにする。

日本経済新聞 2022/10/29

2021:4./ 339p
978-4-532-13513-3

¥2,750〔税込〕





暗闇のなかの光〜ブラックホール、宇宙、そして私たち〜

ハイノー・ファルケ／イェルク・レーマー 著
亜紀書房

2019年4月、100年の時をかけて、初めて画像で直接証明されたブラックホールの存在。プロジェクト実現のため、世界中の電波望遠鏡のネットワーク作りに奔走した研究者が語る、壮大なサイエンスノンフィクション。

日本経済新聞 2022/10/29

2022:9/
435p,24p,17p
978-4-7505-1760-5
¥2,970〔税込〕



すべてのことはメッセージ 小説ユーミン

山内マリコ 著
マガジンハウス

八王子の裕福な呉服店に生まれた少女は、ピアノに触れ、清元を学び、グループ・サウンズ、米軍基地と次々に新しい扉を開け才能を開花させていき…。2022年デビュー50周年を迎えた“ユーミン”荒井由実の少女時代を描く。

日本経済新聞 2022/10/29

2022:10./ 368p
978-4-8387-3224-1
¥1,980〔税込〕



ボクのクソリプ奮闘記〜アンチ君たちから教わった会話することの大切さ〜

ディラン・マロン 著
DU BOOKS

毎日、山のように届くクソリプ=誹謗中傷コメントに悩まされていた著者は、コメントの送り主に電話して直接会話してみるという大胆な行動に出る。SNS時代の病理に<会話>の力で挑んだ社会実験の軌跡。

日本経済新聞 2022/10/29

2022:9./ 397p
978-4-86647-180-8
¥2,640〔税込〕



掌に眠る舞台

小川 洋子 著
集英社

「レ・ミゼラブル」全公演に通う私は、劇場に住む「失敗係」の彼女と出会い…。ステージの此方と彼方で生まれる特別な関係を描く、美しく恐ろしい極上の短編集。全8編を収録。『すばる』掲載を書籍化。

毎日新聞 2022/10/01

2022:9./ 265p
978-4-08-771808-9
¥1,815〔税込〕



国鉄〜「日本最大の企業」の栄光と崩壊〜(中公新書 2714)

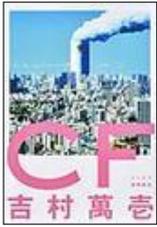
石井 幸孝 著
中央公論新社

1949年設立の国鉄は戦後の高度成長を支えたが、交通手段の多様化により経営は悪化、1987年に分割民営化された。国鉄の歴史に何を学ぶか。JR九州初代社長が、国鉄の誕生、発展、そして衰退を語る。

毎日新聞 2022/10/01

2022:8./ 4p,382p
978-4-12-102714-6
¥1,210〔税込〕





CF

吉村萬壺 著

徳間書店

罪を犯しても責任を取る必要がない“無化”を行う企業・Central Factory(CF)。加害者と被害者の苦しみを取り除き、世を平穏へと導く企業に疑問を持つ男が現れて…。罪とは何か。責任の取り方を問う群像劇。

毎日新聞 2022/10/01

2022:6./ 270p

978-4-19-865478-8

¥1,870〔税込〕



ジョゼフ・コーネル〜箱の中のユートピア〜 新版

デボラ・ソロモン 著

白水社

20世紀のアメリカが生んだもっとも魅力的なアーティストのひとり、ジョゼフ・コーネル。女優のプロマイド、天体図、貝殻などが箱に収められた作品を800点以上制作し、多くの芸術家に影響を与えたその生涯に迫る。

毎日新聞 2022/10/01

2022:8./ 479p,46p

978-4-560-09452-5

¥5,500〔税込〕



世界の母系社会〜フォト・ドキュメント〜

ナディア・フェルキ 著

原書房

メキシコ・サポテコ族、インドネシア・ミナンカバウ族、フランス・ウェッサン島民…。世界の「母系社会」はいかにして生まれ、歴史をつむいできたのか。10年にわたって撮り続け、交流してきた貴重な記録と写真を収める。

毎日新聞 2022/10/01

2022:9./ 175p

978-4-562-07197-5

¥3,960〔税込〕



歩きながら考えよう〜建築も、人生も〜

安藤忠雄 著

PHP研究所

夢をつくりあげる無我夢中のエネルギーの素とは？ 建築家・安藤忠雄が、大工仕事を見ていた子ども時代から、世界的に活躍する現在までを語る。NHKBS「100年インタビュー」の内容をもとに単行本化。

毎日新聞 2022/10/01

2010:11./ 125p

978-4-569-78072-6

¥1,210〔税込〕



カラヴァッジョ〜ほんとうはどんな画家だったのか〜

石鍋 真澄 著

平凡社

負の神話によりイメージが歪められた、イタリアの偉大な画家、カラヴァッジョ。西洋美術史の第一人者が、過去の伝記から最新研究まで丹念にひもとき、時代の社会的背景に基づく現実的な解釈を加えつつその実像に迫る。

毎日新聞 2022/10/01

2022:8./ 591p

978-4-582-65211-6

¥6,160〔税込〕





韓国文学の中心にあるもの

斎藤真理子 著

イースト・プレス

韓国で書かれた小説や詩は、なぜこんなにも面白く、パワフルで魅力的なのか。「82年生まれ、キム・ジヨン」「少年が来る」等、日本語訳が存在する作品を取り上げて論考する。連続講座や『WEZZY』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2022/10/01

2022:7./ 326p
978-4-7816-2093-0

¥1,650〔税込〕



22世紀の民主主義〜選挙はアルゴリズムになり、政治家はネコになる〜(SB新書 586)

成田悠輔 著

S Bクリエイティブ

民主主義が意識を失っている間に手綱を失った資本主義は加速している。私たちはどこを目指せばいいのか? 民主主義との闘争、逃走、構想…。選挙や民主主義をどうデザインすればいいかを考え直し、色々な改造案を示す。

毎日新聞 2022/10/01

2022:7./ 255p
978-4-8156-1560-4

¥990〔税込〕



カヨと私

内澤句子 著

本の雑誌社

小豆島でヤギと暮らしはじめた著者。カヨと名付けたヤギを、気づけば「どっちが飼い主?!」と笑われるほど世話をし、ともに時間を過ごして…。著者が描いたイラストも多数収録。『母の友』連載を単行本化。

毎日新聞 2022/10/01

2022:7./ 252p
978-4-86011-470-1

¥2,200〔税込〕



老人と海〜新訳〜

アーネスト・ヘミングウェイ、今村 楯夫 著

左右社

マジキと対峙する屈強な老人は、「老い」と「弱さ」に向き合うひとりの人間だった。ノーベル文学賞受賞作家ヘミングウェイの世界的名作「老人と海」の新訳。日本のヘミングウェイ研究の第一人者、今村楯夫の訳者解説付き。

毎日新聞 2022/10/01

2022:9./ 192p
978-4-86528-334-1

¥2,200〔税込〕



ふたごじてんしゃ物語

中原美智子 著

苦楽堂

双子でも安心して乗せられる自転車が欲しい! 今までになかった自転車を考案し、会社をつくり、多胎育児支援 NPO を立ち上げた、双子ママの物語。著者のブログや SNS、『大阪日日新聞』への寄稿等を元に加筆改稿。

毎日新聞 2022/10/01

2022:6./ 261p,2p
978-4-908087-14-1

¥1,760〔税込〕





この部屋から東京タワーは永遠に見えない

麻布競馬場 著
集英社

丸の内のメーカーに就職後うつになって地元に戻った教師、学生時代に言われた「30まで独身だったら結婚しよw」が忘れられないアラサー女…。虚無と諦念の掌編集。Twitter、note 掲載を単行本化。

毎日新聞 2022/10/01、読売新聞 2022/10/02

2022:9./ 188p
978-4-08-788083-0

¥1,540〔税込〕



「推し」の科学〜プロジェクション・サイエンスとは何か〜(集英社新書 1127)

久保(川合)南海子 著
集英社

「いま、そこにはない」ものに思いを馳せること、それを他者と共有できることは人間ならではの「知性」である。「推し」をめぐるさまざまな行動を端緒として、「プロジェクション」というところの動きを紐解く。

毎日新聞 2022/10/01、読売新聞 2022/10/09

2022:8./ 251p
978-4-08-721227-3

¥946〔税込〕



私の国とはつまり何なのか〜アンゲラ・メルケル演説選集〜

創元社

ドイツ初の女性首相アンゲラ・メルケルは就任から16年、数多くの課題に取り組みながら任期を務め上げ、ドイツを変えた。彼女が自身の信念を率直に語り、ドイツ国民の心を動かした、自由と民主主義をめぐる3つの演説を収録。

毎日新聞 2022/10/01、読売新聞 2022/10/23

2022:8./ 78p
978-4-422-32032-8

¥1,760〔税込〕



豪球復活

河合 莞爾 著
講談社

記憶障害により全てを忘れてしまった天才投手・矢神大は、ある日、昔の自分が書いたノートを発見する。そこには失われた豪速球の投げ方と、奇妙な殺人の告白が書かれていた。そこに隠された驚くべき秘密とは…。

毎日新聞 2022/10/02

2022:9./ 413p
978-4-06-529000-2

¥2,090〔税込〕



死刑について

平野 啓一郎 著
岩波書店

死刑を存置することで、社会は何を失うのか-。「生」と「死」をめぐる真摯に創作を続けてきた小説家が、自身の体験を交え根源から問う。2019年開催の大阪弁護士会主催の講演をもとに書籍化。

毎日新聞 2022/10/08

2022:6./ 6p,124p,7p
978-4-00-061540-2

¥1,320〔税込〕





流浪地球

劉 慈欣 著
KADOKAWA

地球の自転がストップした。人類が生き延びるには、太陽系を脱出するしかない。巨大な“地球エンジン”を設置し、地球そのものを宇宙船として悠久の旅が始まるが…。表題作をはじめ、「呑食者」など全 6 編を収録した短編集。

毎日新聞 2022/10/08

2022:9./ 309p
978-4-04-065993-0
¥2,200〔税込〕



魔が差したパン(新潮文庫 オ-2-6)

O.ヘンリー 著
新潮社

堅実に暮していた女の淡い恋を描いた表題作のほか、「ブラック・ビルの雲隠れ」「人生ぐるぐる」「都会の敗北」「紫のドレス」など、O・ヘンリーの傑作短篇 17 篇を集めた新訳版。

毎日新聞 2022/10/08

2015:12./ 263p
978-4-10-207206-6
¥605〔税込〕



論争関ヶ原合戦(新潮選書)

笠谷 和比古 著
新潮社

小山の評定は後世の創作、関ヶ原は戦場ではない…。新説は本当か？近年注目を集めた新知見を本分野の第一人者がひとつひとつ吟味しながら、「天下分け目の戦い」の総合的な歴史像を構築する。

毎日新聞 2022/10/08

2022:7./ 268p
978-4-10-603887-7
¥1,650〔税込〕



三体

劉 慈欣、大森 望、光吉 さくら、ワン チャイ、立原 透耶 著
早川書房

物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。ある日、彼女は迷っていた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行していて…。

毎日新聞 2022/10/08

2019:7./ 447p
978-4-15-209870-2
¥2,090〔税込〕



私たちは AI を信頼できるか

大澤 真幸／川添 愛／三宅 陽一郎／山本 貴光／吉川 浩満 著
文藝春秋

意味がわかるとは何か？人工知能は世界を再構築できるか？最先端の 5 人が、ゲーム、言語、哲学の最新知見から AI について語り尽くす。ブックガイドも掲載。『文藝界』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2022/10/08

2022:9./ 229p
978-4-16-391594-4
¥1,760〔税込〕





本当の戦争の話をしよう(文春文庫)

ティム・オブライエン 著
文芸春秋

人を殺すということ、失った戦友、帰還の後の日々--ヴェトナム戦争で若者が見たものとは？ 胸の内に「戦争」を抱えたすべての人に贈る真実の物語。鮮烈な短篇作品二十二篇収録。

毎日新聞 2022/10/08

1998:2./ 395p
978-4-16-730979-4
¥803〔税込〕



日清・日露戦史の真実~『坂の上の雲』と日本人の歴史観~(筑摩選書 0232)

渡辺 延志 著
筑摩書房

官修「日清戦史」は陸軍が不都合な事実を隠蔽、改竄して編纂していた。埋もれていた歴史を掘り起こし、120余年の歳月を超えた日清戦争の実像に迫り、日本人の歴史観のあり方を問いなおす。

毎日新聞 2022/10/08

2022:7./ 249p
978-4-480-01750-5
¥1,760〔税込〕



永遠の夏をあとに(創元文芸文庫 LA ゆ 1-1)

雪乃 紗衣 著
東京創元社

かつて神隠しに遭った少年、拓人。年上の少女、弓月小夜子が現れ、以前、拓人の母とともに三人で暮らしていたというのが、拓人はどうしても思い出せない。怪異が起り始める町で、すべての謎の鍵は拓人の失われた記憶の中に....。

毎日新聞 2022/10/08

2022:7./ 377p
978-4-488-80304-9
¥858〔税込〕



カーザ・ヴェルディ~世界一ユニークな音楽家のための高齢者施設~

藤田彩歌 著
ヤマハミュージックメディア

一つ屋根の下に、20代から106歳までの音楽家が暮らすと...。作曲家ヴェルディが私財で設立した音楽家のための高齢者施設「カーザ・ヴェルディ」に、20代で入居することになったメゾソプラノ歌手が綴るエッセイ。

毎日新聞 2022/10/08

2022:8./ 175p
978-4-636-10176-8
¥2,090〔税込〕



詩人白石~寄る辺なく気高くさみしく~(韓国文学セレクション)

アン・ドヒョン (安度眩) 著
新泉社

尹東柱などと並び、現代韓国で多くの支持を集め続ける詩人、白石。波乱に満ちた生涯を緻密に再現し、生涯にわたる詩・随筆とその作品世界の魅力を余すところなく伝える。

毎日新聞 2022/10/08

2022:9./ 505p
978-4-7877-2222-5
¥3,960〔税込〕





論語清談

西部 邁／福田 和也 著
草思社

「友」とは、「学ぶ」とは、「仁」とは何か？ 稀代の思想家・西部邁と文芸批評家・福田和也が、主要な言葉、エピソードをたどりながら、「論語」のエッセンスを縦横無尽に語り合う。『文學界』掲載を単行本化。

毎日新聞 2022/10/08

2022:6./ 221p
978-4-7942-2581-8
¥1,760〔税込〕



グリーンネイバーフッド〜ポートランドに見るアルチザンエコノミーという新しい資本主義のかたち〜 増補改訂版

吹田良平 著
トゥーヴァージンズ

身の丈主義ともいえる独特なライフスタイルと、自立しながら連携する風通しの良いコミュニティ感覚。米国オレゴン州ポートランド市の都市再生事例を、豊富な写真とともに紹介する。山崎満広との対談も収録。

毎日新聞 2022/10/08

2022:8./ 239p
978-4-910352-42-8
¥2,420〔税込〕



「死んだふり」で生きのびる〜生き物たちの奇妙な戦略〜(岩波科学ライブラリー 314)

宮竹 貴久 著
岩波書店

敵から逃れるために動きを止めて死んだふりをするのは意味あるの？ 起き上がるタイミングはどう決まる？ すぐ死んだふりをする虫はモテない上にストレスに弱い？ 謎多き行動の裏側を、昆虫学者が熱量高く掘り下げる。

毎日新聞 2022/10/08、朝日新聞 2022/10/29

2022:9./ 10p,132p
978-4-00-029714-1
¥1,430〔税込〕



編めば編むほどわたしはわたしになっていった

三國 万里子 著
新潮社

ずっと息苦しさを感じていた少女は、いかにして編みもの世界に自分の居場所を見つけたのか？ 読む人それぞれの「あの頃」がよみがえる、極上のエッセイ集。書き下ろし全 29 編を収録。

毎日新聞 2022/10/08、朝日新聞 2022/10/29

2022:9./ 230p
978-4-10-354781-5
¥1,650〔税込〕



ウクライナ戦争日記〜ロシアが攻めてきた日、すべてが変わってしまった。〜

Stand With Ukraine Japan、左右社編集部 編
左右社

ロシアが攻めてきた日、すべてが変わってしまった。占領下の惨めな生活、避難所に隠れ、爆弾や砲撃から延々と逃げまどう日々。不信感や怒り、落胆。戦争という非日常を生きるウクライナの 24 人のリアルを伝える戦争日記。

毎日新聞 2022/10/08、読売新聞 2022/10/09

2022:7./ 318p
978-4-86528-091-3
¥1,980〔税込〕





佐渡鉱山と朝鮮人労働(岩波ブックレット No.1069)

竹内 康人 著
岩波書店

戦時、朝鮮人が苦しんだ土地という「負の歴史」を否定できない佐渡金山。動員された朝鮮人の名簿や争議の記録など、貴重な第一次史料や労務係、被害者の証言から、労働の実態を描き出す。

毎日新聞 2022/10/15

2022:10./ 84p
978-4-00-271069-3

¥682〔税込〕



マダムたちのルームシェア

seko koseko 著
KADOKAWA

沙苗、菜、晴子、古くからの友人である3人は、ひとつ屋根の下で暮らしている。眠れない夜は花札、お気に入りのネイルを塗り合い、何もかもうまくいかない日には踊って…。マダムたちのルームシェアライフを描くコミック。

毎日新聞 2022/10/15

2022:9./ 132p
978-4-04-681563-7

¥1,210〔税込〕



おはん 改版(新潮文庫)

宇野 千代 著
新潮社

毎日新聞 2022/10/15

2003:11./ 127p
978-4-10-102702-9

¥407〔税込〕



韓国併合～大韓帝国の成立から崩壊まで～(中公新書 2712)

森 万佑子 著
中央公論新社

朝鮮半島の地域研究を専門とする著者が、日韓双方の視点から韓国併合の軌跡と実態を描写。特に「大韓帝国が成立して崩壊していく過程」に注目し、今なお続く植民地の合法・不法論争についても記す。

毎日新聞 2022/10/15

2022:8./ 4p,264p
978-4-12-102712-2

¥946〔税込〕



ここに住みたい(中公文庫 ほ 23-1)

堀内 誠一 著
中央公論新社

フランスで安宿グルメにハマリ、メキシコではおもちゃに散財、スペインで巨匠ダリと不意に遭遇! 絵本作家・アートディレクターとして一時代を築いた堀内誠一が描く、旅の文とスケッチ。

毎日新聞 2022/10/15

2022:9./ 220p
978-4-12-207263-3

¥968〔税込〕





家庭で作れる東西南北の伝統インド料理

香取 薫 著

河出書房新社

東インドの鯉のカレー、西インドのなすのタラサン、南インドのダム・カ・キーマ、北インドのチキン・マカーナー…。スパイスが織りなす、東西南北の多彩な伝統インド料理をプロセス写真付きで紹介する。

毎日新聞 2022/10/15

2022:6./ 126p
978-4-309-28989-2

¥2,365〔税込〕



正しい核戦略とは何か～冷戦後アメリカの模索～

ブラッド・ロバーツ 著

勁草書房

ウクライナ戦争で明らかになった核兵器のリアル。これまでアメリカは核武装した敵国や、不安を抱える同盟国とどう向き合ってきたのか。米政権で核・ミサイル防衛政策を担当してきた第一人者が徹底検証する。

毎日新聞 2022/10/15

2022:8./ 8p,377p
978-4-326-30314-4

¥4,950〔税込〕



ステパンチコヴォ村とその住人たち(光文社古典新訳文庫 KA ト 1-24)

ドストエフスキー 著

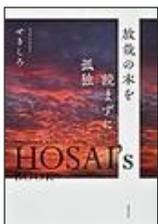
光文社

故郷での異常事態について知らされた私。祖母に取り入った居候が口八丁を弄して家庭の権力をほしいままにしているというのだ。彼と対決すべくかの地に向かうが、癖のある客人や親戚たちの思惑にも翻弄され、予想外の展開に…。

毎日新聞 2022/10/15

2022:9./ 536p
978-4-334-75467-9

¥1,496〔税込〕



放哉の本を読まずに孤独

せきしろ 著

春陽堂書店

妄想文学の鬼才・せきしろが、孤高の俳人・尾崎放哉の自由律俳句 50 句に着想を得て生みだした、孤独を救う 50 編の散文と 65 句の自由律俳句を収録する。春陽堂ウェブサイト連載を加筆修正、書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2022/10/15

2022:8./ 186p
978-4-394-99011-6

¥1,760〔税込〕



見知らぬ人(創元推理文庫 M ク 28-1)

エリー・グリフィス 著

東京創元社

タルガス校の旧館は、かつて伝説的作家ホルランドの邸宅だった。クレアは同校の教師をしながらホルランドの研究をしているが、ある日、親友である同僚が殺害される。遺体のそばにはホルランドの短編の文章が書かれたメモが…。

毎日新聞 2022/10/15

2021:7./ 508p
978-4-488-17003-5

¥1,210〔税込〕





窓辺の愛書家(創元推理文庫 Mク 28-2)

エリー・グリフィス 著

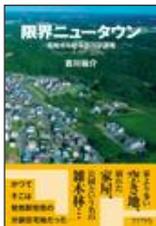
東京創元社

多くの推理作家の執筆に協力していた、本好きの老婦人ペギーが死んだ。死因は心臓発作だが、不審に思った介護士のナタルカは真相を探りはじめる。ペギーの部屋を調べていると、覆面の人物が、ある推理小説を奪っていき…。

毎日新聞 2022/10/15

2022:8./ 454p
978-4-488-17004-2

¥1,210〔税込〕



限界ニュータウン～荒廃する超郊外に分譲地～

吉川 祐介 著

太郎次郎社エディタス

家より多い空き地、崩れた家屋、公園という名の雑木林。かつてそこは発売即完売の分譲住宅地だった。「限界ニュータウン」を訪ね歩きつづける著者が、その誕生から現状をたどり、利活用と未来を考える。

毎日新聞 2022/10/15

2022:10./ 239p
978-4-8118-0850-5

¥1,980〔税込〕



戦争が町にやってくる

ロマナ・ロマニーシン／アンドリー・レシヴ 著

ブロンズ新社

美しい町・ロンドで、人々は花を育て、鳥や草木に話しかけながら、楽しく暮らしていました。ところが、ある日突然「戦争」がやってきて…。ウクライナの作家が子どもたちに向けて描いた平和と戦争の絵本。

毎日新聞 2022/10/15

2022:6./ 1冊(ページ
付なし)

978-4-89309-709-5

¥1,760〔税込〕



アジアの孤児(岩波現代文庫 文芸 346)

呉 濁流 著

岩波書店

日本の植民地時代の台湾に生まれた胡太明は、中国文化をルーツに持ちながら、近代的な教育を受けて成長するが…。植民統治下の台湾人が生きた矛盾と苦悩を克明に描き、戦後に日本語で発表された、台湾文学の古典的名作。

毎日新聞 2022/10/22

2022:9./ 11p,371p
978-4-00-602346-1

¥1,452〔税込〕



海に生きる!ウミガメの花子

黒部ゆみ 著

偕成社

地域の人々に愛されているアオウミガメの「花子」を中心に、沖縄のウミガメの姿や種類、産卵のようすや子ガメのふ化と海への旅立ちを写真で紹介。ウミガメに迫る危機に加えて、地域の人々の保護の努力も伝える。

毎日新聞 2022/10/22

2022:9./ 40p
978-4-03-333740-1

¥1,760〔税込〕





地球をまもるってどんなこと?〜小学生のわたしたちにできること〜

ジョージ Y ハリソン 著
KADOKAWA

「ベジタリアンになる日を作る」「フェアトレードのものを買う」…。持続可能な世界のために 10 歳の少年がしている 12 の「できること」を伝える。AI 専門家と、ワールド・フード・フォーラムへの質問・回答も収録。

毎日新聞 2022/10/22

2022:10./ 32p
978-4-04-112507-6
¥1,650〔税込〕



メダリスト<vol.1>(アフタヌーン KC)

つるまいかだ 著
講談社

人生ふたつぶん懸けて、叶えたい夢がある！ 夢破れた青年・司と、見放された少女・いのり。でも二人には、誰より強いリンクへの執念があった。氷の上で出会った二人がタッグを組んで、フィギュアスケートで世界を目指す！

毎日新聞 2022/10/22

2020:9./ 227p
978-4-06-520783-3
¥748〔税込〕



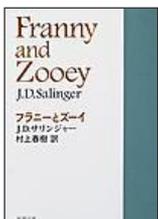
世界のまどねこ(講談社文庫 に 23-6)

新美 敬子 著
講談社

猫は窓辺が大好き！世界を旅するフォトグラファーが出会った「まどねこ」たちの写真を、エッセイとともに紹介。YKK AP 株式会社の Facebook 公式ブランドページ掲載を加筆修正、新たに写真と文章を加え文庫化。

毎日新聞 2022/10/22

2022:10./ 248p
978-4-06-529578-6
¥1,012〔税込〕



フラニーとズーイ(新潮文庫 サ-5-2)

J・D・サリンジャー 著
新潮社

エゴだらけの世界に欺瞞を覚え、宗教書に魂の救済を求めるフラニー。兄ズーイは才気とユーモアに富む渾身の言葉で、自分の殻に閉じこもる妹を救い出す。新訳。訳者・村上春樹の特別エッセイを掲載した別紙挟み込み付き。

毎日新聞 2022/10/22

2014:3./ 292p
978-4-10-205704-9
¥737〔税込〕



伊藤ふきげん製作所〜思春期をサバイバルする〜

伊藤比呂美 著
中央公論新社

思春期の「あのふきげん」とどう向き合うか。継父との関係、海外生活のカルチャーギャップも相まって、娘たちとの攻防の日々は果てもない。悩める母の奮戦記に、10編を加えた増補版。

毎日新聞 2022/10/22

2022:10./ 276p
978-4-12-005577-5
¥1,870〔税込〕





新編散文の基本(中公文庫 あ 20-4)

阿部 昭 著
中央公論新社

「短編小説礼讃」の著者による小説作法の書。「私の文章作法」「短篇小説論」を中心に日本語論、自作解説を増補。荒川洋治との対談「短篇小説を語る」も収録。

毎日新聞 2022/10/22

2022:9./ 299p
978-4-12-207253-4

¥1,100〔税込〕



キュレーターの殺人(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 481-3)

M・W・クレイヴン 著
早川書房

クリスマスの英国カンブリア州で、切断された人間の指が次々発見された。現場には“#BSC6”の文字列が。刑事ポーたちは捜査に乗り出す。<ワシントン・ポー>シリーズ第3作。

毎日新聞 2022/10/22

2022:9./ 628p
978-4-15-184253-5

¥1,386〔税込〕



暗渠でたどる東京案内～水のない川～

本田 創 著
山川出版社

かつて流れていた川や水路の痕跡「暗渠」をたどると、現在とは全く違う東京の姿が見えてくる。暗渠地図、古地図、写真などの豊富なビジュアルで土地の記憶と景観、人と水とのかかわりを紹介する。

毎日新聞 2022/10/22

2022:8./ 207p
978-4-634-15218-2

¥2,200〔税込〕



今日拾った言葉たち

武田砂鉄 著
暮しの手帖社

気鋭のライターが、新聞、テレビ、ラジオ、書籍、雑誌、SNS などから、心の網にかかった言葉を拾い上げ、その裏に隠れた本質に根気よく迫る社会批評集。『暮しの手帖』連載に加筆し書籍化。

毎日新聞 2022/10/22

2022:9./ 235p
978-4-7660-0227-0

¥1,870〔税込〕



私のことば体験

松居直 著
福音館書店

ぐりとぐら、だるまちゃん、おおきなかぶ…。あの絵本はここから始まった-。敗戦後、子どもたちが心から楽しめる本がなかった日本で、絵本の世界を作り上げてきた松居直の自伝。『母の友』連載を単行本化。

毎日新聞 2022/10/22

2022:9./ 190p
978-4-8340-8672-0

¥2,200〔税込〕





ジャーナリストと謝野晶子

松村由利子 著
短歌研究社

与謝野晶子は新聞や雑誌から社会評論の執筆を依頼される寄稿家だった。歌人としてデビューした晶子がどんなふうに社会評論を書き始め、論考や思想を深めていったのか、さまざまな角度から考察する。『短歌研究』連載を加筆。

毎日新聞 2022/10/22

2022:9./ 323p,7p
978-4-86272-720-6

¥2,750〔税込〕



すばらしい失敗～「数独の父」鍛冶真起の仕事と遊び～

ニコリ 編
ニコリ

パズル制作とパズル誌の出版を行う「株式会社ニコリ」を創業から40年近く率い、世界から「数独の父」と呼ばれた鍛冶真起。パズルを愛し、世界を魅了した男のユニークでウィットに富んだ人生と素顔を紹介する。

毎日新聞 2022/10/22

2022:10./ 319p
978-4-89072-379-9

¥1,980〔税込〕



夢の砦～二人でつくった雑誌「話の特集」～

和田誠／矢崎泰久 著
ハモニカブックス

雑誌が世の中の“面白いこと”をリードしていた時代に創刊された代表的存在『話の特集』。<自分たちが読みたい雑誌>を追い求めた矢崎泰久と和田誠の若き日々をたぐり寄せ、当時の記事を再録し、時代の記憶を掘り起こす。

毎日新聞 2022/10/22

2022:10./ 269p
978-4-907349-27-1

¥2,310〔税込〕



チャコウラさんの秘密を知りたい!ナメクジの話(みんなの研究)

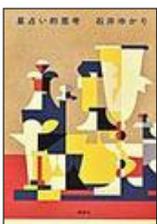
宇高寛子 著
偕成社

約20年にわたってナメクジを研究している著者。なぜナメクジを研究することになったのか、ナメクジがどんな生きもので、どんなところがおもしろいのか、どうやってナメクジを研究しているのかを伝える。

毎日新聞 2022/10/29

2022:8./ 187p
978-4-03-636340-7

¥1,650〔税込〕



星占いの思考

石井 ゆかり 著
講談社

星占いをもっとたくさんの言葉で語ろうとするとどうなるか。「12星座シリーズ」の著者が文学の言葉で「占い」を学びほぐす哲学的エッセイ。『群像』連載などに書き下ろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 254p
978-4-06-528891-7

¥1,650〔税込〕





学年誌の表紙画家・玉井力三の世界～学年誌 100 周年記念企画～

小学館

長年、小学館の学年誌の表紙画を描き、昭和の高度成長期に強い印象を刻んだ表紙画家・玉井力三。その表紙原画 245 点を収録。戦前から活躍した洋画家としての知られざる画業も紹介する。

毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 98p
978-4-09-682412-2

¥2,970〔税込〕



立花隆の書棚

立花 隆 著

中央公論新社

書棚を前にして、語りは、境界を越えてとめどもなく広がる。-。知の巨人、立花隆の驚異の蔵書を書棚ごとくまなく撮影して、精密なカラー写真で紹介。さらに全書棚について、立花自らが解説する。四つ折り口絵あり。

毎日新聞 2022/10/29

2013:3./ 650p
978-4-12-004437-3

¥3,300〔税込〕



「神様」のいる家で育ちました～宗教 2 世な私たち～

菊池 真理子 著

文藝春秋

親が宗教を信仰している家の子供「宗教 2 世」。宗教ありきで育てられ、世間とはずいぶん違う生活を送っています。-。著者を含む 7 人の宗教 2 世たちが育ってきた家庭を描いたノンフィクションコミック。

毎日新聞 2022/10/29

2022:10./ 138p
978-4-16-090134-6

¥1,100〔税込〕



詩人はすべて宿命である～萩原朔太郎による詩のレッスン～

安智史／栗原飛宇馬 編

萩原朔太郎 著

国書刊行会

萩原朔太郎による詩歌の鑑賞、彼の愛する詩人たちにかんするエッセイ、「月に吠える」から「宿命」にいたる自作解説等を収録する。読者の理解の助けとなる編者の解説と解題、朔太郎の生前著作一覧も掲載。

毎日新聞 2022/10/29

2022:10./ 299p
978-4-336-07393-8

¥3,520〔税込〕



ラヴェンナ～ヨーロッパを生んだ帝都の歴史～

ジュディス・ヘリン 著

白水社

中世キリスト教世界の成立に決定的な役割を果たした都、ラヴェンナ。その 4～9 世紀の盛衰を、主要な人物と美術の分析を交えて描く。カラー図版も多数収録。

毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 450p,102p

図版 32p

978-4-560-09450-1

¥9,570〔税込〕





眩暈

エリアス・カネッティ、池内 紀 著
法政大学出版局

ノーベル賞作家カネッティの長編小説。群衆と権力をテーマに錯綜する狂気と錯乱の風景を描き、解し難く浅薄な現代を深く烈しく抉った20世紀ドイツ文学を代表する傑作。初版1972年刊の新装版。

毎日新聞 2022/10/29

2004:11./ 510p
978-4-588-12016-9
¥4,950〔税込〕



AV女優ちゃん<1>

峰なゆか 著
扶桑社

毎日新聞 2022/10/29

2020:12./ 169p
978-4-594-08645-9
¥990〔税込〕



ボーアとアインシュタインに量子を読む〜量子物理学の原理をめぐって〜

山本義隆 著
みすず書房

客観性や状態といった基本概念の意味を変えてた量子力学。2人の巨人の思索を軸に、変革の時代の主要な科学論文を読み込み、量子物理学の建設に携わった人々がその時・その場で何を考えていたのかをつぶさに辿る。

毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 2p,617p
978-4-622-09513-2
¥6,930〔税込〕



広報・PR論〜パブリック・リレーションズの理論と実際〜 改訂版(有斐閣ブックス)

関谷 直也／菌部 靖史／北見 幸一／伊吹 勇亮／川北 眞紀子 著
有斐閣

企業・行政などの組織全般に適用できる、広報・PR(パブリック・リレーションズ)全般についてのテキスト。広報・PRのさまざまな側面について、研究者の立場から、隣接領域との関連性を意識して体系的に解説する。

毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 19p,295p
978-4-641-18459-6
¥2,750〔税込〕



わたしは「ひとり新聞社」〜岩手県大槌町で生き、考え、伝える〜

菊池 由貴子 著
亜紀書房

東日本大震災後、岩手県大槌町の町民に町の情報を知らせたいという思いからスタートした『大槌新聞』。二度の心停止と離婚の挫折を抱えた内気な著者が、震災を契機にひとりで小さな新聞を創刊し書き続けた10年間の奮闘記。

毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 259p
978-4-7505-1767-4
¥1,980〔税込〕





科学史から消された女性たち～アカデミー下の知と創造性～ 改訂新版

ロンダ シービンガー 著

工作舎

物理学者のエミリ・デュ・シャトレ、昆虫学者のマリア・シビラ・メリアン…。アカデミーから排除されながらも、後世に残る仕事を残した才気あふれる女性たちに光を当て、科学の価値中立神話をジェンダーの視点から突き崩す。

毎日新聞 2022/10/29

2022:9./ 411p
978-4-87502-544-3

¥4,180〔税込〕



* 9 7 8 4 8 7 5 0 2 5 4 4 3 *



蔵書一代～なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか～

紀田 順一郎 著

松籟社

やむをえない事情から3万冊超の蔵書を手放した著者。自らの半身をもぎとられたような痛恨の蔵書処分を契機に、近代日本の出版史・読書文化を振り返りながら、「蔵書」の意義と可能性、その限界を探る。

毎日新聞 2022/10/29

2017:7./ 206p
978-4-87984-357-9

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 8 7 9 8 4 3 5 7 9 *